



KYOTO
COLLEGE OF NURSING

2022 年度 授業概要（2 年次）



学校法人 京都育英館

京都看護大学

目次

クリティカルシンキング	1
上級英語コミュニケーション 1	2
上級英語コミュニケーション 2	3
基礎中国語コミュニケーション	4
中級中国語コミュニケーション	5
栄養学	6
公衆衛生学	7
生活行動援助論Ⅱ	8
生活行動援助論演習Ⅱ	9
看護現象と看護診断	10
看護過程論	11
国際看護論	12
地域生活・在宅支援論	13
在宅支援論演習	14
公衆衛生看護学	15
高齢者支援論	16
高齢者支援論演習	17
母性看護学	18
母性看護学演習	19
小児看護学	20
小児看護学演習	21
周術期看護論	22
クリティカルケア論	23
急性期・周術期看護論演習	24
生活行動回復看護論	25
生活行動回復看護論演習	26
セルフケア支援論	27
セルフケア支援論演習	28
緩和ケア論	29
精神看護学	30
精神看護学演習	31
生活行動援助論実習Ⅱ	32

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
クリティカルシンキング		BNNBS3E03	10103	2前	1(30)	必修	
担当教員	奥田 のり美 <第1回・第8～15回担当>	実務歴	有	看護師として病院に21年勤務			
担当教員	吉岡 隆之 <第2～7回担当>	実務歴					
概要	主体的な問題解決能力の基礎となる、先入観を捨てて課題を批判的に捉え、それを論理的・構造的に解決するための思考力やスキルを身に付ける。更に、臨床現場で不可欠な、相手のことを考え、環境の改善に資するという目的をもってこそ、批判的、論理的な思考とそれに基づいた発言、行動が意味を持ちうるという「社会的クリティカルシンキング」の考え方の上立って様々な実践的課題に取り組む。						
到達目標	1.先入観や偏見を持つことなく物事、事態を批判的、論理的に分析できる。 2.分析に基づいて解決策を論理的に考え出すことができる。 3.自分の考えを説得力を伴う形で説明できる。 4.1～3を相手や周囲の立場、状況等を勘案して全体の利益のために行うことができる。						
関連科目	基礎ゼミ1, 2						
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法		
	レポート	60%	1.15%	2.15%	3.15%	4.15%	書面でフィードバック
	授業内課題	40%	1.10%	2.10%	3.10%	4.10%	授業時に解説
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		○	適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容				取組時間	
1	ガイダンス・思考法の必要性	【予習】シラバスを読みどのようなことを学ぶのか考える。 【復習】思考法はなぜ必要なのかまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
2	社会的クリティカルシンキング(CT)とは	講義後に社会的CTの概要について理解を深め文章にまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
3	思考・感情・行動に関する一般的な脳のしくみ	講義後に思考・感情・行動に関する一般的な脳の構造としくみについて復習し理解を深め文章にまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
4	信念形成の脳のからくり～「解釈する脳」～	講義前にテキストを熟読し「解釈する脳」について学び、講義後に理解し考察したことを文章にまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
5	「解釈する脳」とナラティブ・行動変容・セラピー	講義前にテキストを熟読し、ナラティブ、行動変容、セラピーについて学び、講義後に理解し考察したことを文章にまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
6	社会的CTのための種々の行動理論①	講義後に社会的CTのための主要な行動理論について、学び、気づき、考え、感じたことを論じる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
7	社会的CTのための種々の行動理論②	講義後に社会的CTのための主な行動科学的アプローチについて、学び、気づき、考え、感じたことを論じる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
8	クリティカルシンキングとは何か	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】クリティカルシンキングの本質、心構えをまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
9	ロジカルシンキングとは何か(演繹法・帰納法)	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】演繹法、帰納法についてまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
10	ロジカルシンキングとは何か(事例をとって考える)	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】事例を通して自分の考えをまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
11	ラテラルシンキングとは何か	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】事例を通して質問に対する考えをまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	
12	ラテラルシンキングとは何か(事例をとって考える)	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】事例を通して自分の考えをまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
13	クリティカルに考えるとは クリティカルに何をどう疑うのか	【予習】講義資料を読んでおく。 【復習】事例を通して自分の考えをまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
14	看護にけるクリティカルシンキングに実際	【予習】講義資料を読んでおく 【復習】自分の思考の傾向をまとめる				予習0.5時間 復習0.5時間	
15	クリティカルシンキングができるナースになろう	【予習】自分の思考の傾向を考える 【復習】自分の思考の傾向を知ること何で改善したらいいのかまとめる。				予習0.5時間 復習0.5時間	

<p>使用 テキスト</p>	<p>授業内でプリント等を配布する。 <吉岡担当分> 1) 元吉忠寛: 社会的クリティカルシンキングのすすめ, 心理学ワールド, 第61巻, 17-20頁, 2013年(授業中に提示) 2) 吉岡隆之: ナラティブと行動変容のからくりを脳科学から探る—科学の限界を見すえて—, 日本保健医療行動科学会雑誌, 第33巻第2号, 1-8頁, 2018年(事前にPDFファイルで提供)</p>
<p>参考図書</p>	<p><奥田担当分> ① Bob Price・Anne Harrington(2013)看護学生のためのクリティカルシンキングと書き方(神郡 博 訳)世論時報社 ② 楠見孝・津波古澄子(2017)看護におけるクリティカルシンキング教育 医学書院 ③ 野地有子・牧本清子(2001)楽しく学ぶクリティカルシンキング 廣川書店 ④ 小川進・平井孝志(2009)3分でわかるクリティカルシンキングの基本 日本実業社出版</p> <p><吉岡担当分> 1) Gazzaniga, M.S.: The social brain: Discovering the networks of the mind, Basic Books, Inc., New York, 1985(マイケル・S・ガザニガ著, 杉下守弘ほか訳: 社会的脳—心のネットワークの発見—, 青土社, 東京, 1987) ※その他の参考図書、参考文献は、適宜、資料等を提示もしくは情報の提供をいたします。</p>
<p>教員に対する 質問方法</p>	<p>常勤: メールアドレス: n_okuda@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤: 教務部アドレス(教務部: kyomubu@kyotokango.ac.jp)</p>

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
上級英語コミュニケーション1		BNNBS3E06	10203	2前	1(30)	選択
担当教員	高橋詩子					
概要	心と体の健康に纏わる英文を読んで、英語で話してみよう。「心と体の健康」というテーマをきっかけに話題を広げ考えを深めて、幅広い人間力をつける。また毎回、英語圏のネイティブが普段使っている語彙や表現を、彼らの日常生活や映画から拾い上げて学ぶ。聞き取れない原因は主にここにある。					
到達目標	「心と体の健康」についての知識を英文で伝え、聞き取り、会話する力をつける。特に「伝える力」とは、自らの考えや意志を自由に表現することで、自ら英文を作る事が土台となる。また、一人間として日常生活を営む上で、自由に自然な英語で表現ができる力を養う。					
関連科目	上級英語コミュニケーション2					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	30%	毎回の単語とリスニング・英訳小テスト 15% /出席15%	毎回の小テストにて個別に指示		
	定期試験	70%	英文20%/リスニング15% /読解15%/口語表現力20%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス(授業の進め方)/Unit 1:Fuel Your Body & Mind(1)			特に無し		予習0.5時間 復習0.5時間
2	Unit 1:心身を育む朝食(2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
3	Unit 2: What Helps Keep a Doctor Away? (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
4	Unit 2: 医者にかからなくて済むように (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
5	Unit 3: Laughing Will Save You from Going Crazy (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
6	Unit 3: 笑いが心身にもたらす影響は (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
7	Unit 4: The French Paradox (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
8	Unit 4: フランス人はなぜ太らない?(2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
9	Unit 5: Americans' Interest in Sushi (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
10	Unit 5: 寿司もわさびも大人気 (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
11	Unit 6: Don't Stay Away from Natto (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
12	Unit 6: 納豆を食べるといいことばかり (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
13	Unit 7: Acute Alcohol Intoxication Can Kill You (1)			前回到指定した単語と英作の練習		予習0.5時間 復習0.5時間
14	Unit 7: 急性アルコール中毒にご注意 (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
15	総復習 (シラバスは部分的変更する場合があります)			前回到指定した単語・熟語		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	Better Health for Every Day 金星堂					
参考図書	適宜紹介					
教員に対する質問方法	教務部アドレス[kyomubu@kyotokango.ac.jp]					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
上級英語コミュニケーション2		BNNBS4E07	10204	2後	1(30)	選択
担当教員	高橋詩子					
概要	心と体の健康に纏わる英文を読んで、英語で話をしてみよう。「心と体の健康」というテーマをきっかけに話題を広げ考えを深めて、幅広い人間力をつける。また毎回、英語圏のネイティブが普段使っている語彙や表現を、彼らの日常生活や映画から拾い上げて学ぶ。聞き取れない原因は主にここにある。					
到達目標	「心と体の健康」についての知識を英文で伝え、聞き取り、会話する力をつける。特に「伝える力」とは、自らの考えや意志を自由に表現することで、自ら英文を作る事が土台となる。また、一人間として日常生活を営む上で、自由に自然な英語で表現ができる力を養う。					
関連科目	上級英語コミュニケーション1					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	30%	毎回の単語とリスニング・英訳小テスト 15% /出席15%	毎回の小テストにて個別に指示		
	定期試験	70%	英文20%/リスニング15% /読解15%/口語表現力20%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人の人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	Unit 8: Is Snoring a Bad Sign? (1)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
2	Unit 8: イビキは身体の危ないサイン (2)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
3	Unit 9: Getting a Good Night's Sleep is a Challenge (1)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
4	Unit 9: 質の良い睡眠をとるには(2)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
5	Unit 10: Chocolate and its Magical Power (1)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
6	Unit 10: チョコレートの秘めたる力 (2)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
7	Unit 11: The Health Risks of Eating Processed Food (1)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
8	Unit 11: どうして加工食品は良くないか (2)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
9	Unit 13: Environmental Health Threats (1)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
10	Unit 13: アレルギー反応の怖さを知ろう (2)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
11	Review Test ① p.41 p.44			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
12	Review Test ① p.42 p.43			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
13	Review Test ② p.87 p.88			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
14	Review Test ② p.90 p.91			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
15	総復習			前回に指定した単語と熟語と構文の復習		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	Better Health for Every Day 金星堂					
参考図書	適宜紹介					
教員に対する質問方法	教務部アドレス [kyoumubu@kyotokango.ac.jp]					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
基礎中国語コミュニケーション		BNNBS3E08	10205	2前	1(30)	選択
担当教員	高橋 詩子					
概要	初級中国語入門科目であり、初めて中国語を学ぶ医療系学生を対象にしている。初めての語学はまずは心の中の高い壁を越える必要がある。そのためには正しい学習方法と興味が大切である。withコロナという未知の時代を迎え、予想できないグローバルな舞台が諸君を待っている。医療・看護に加え、語学で患者を支える第1歩を踏み出す。					
到達目標	・相手の話を聞き取り、自分の言いたいことを正しく伝えることができる。文法を理解して正しい中国語を習得する。中国語検定4級/準4級合格を目指す。					
関連科目	中級中国語コミュニケーション					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	単語/リスニング/文法の小テスト	30%	単語60% リスニング40%		毎回採点后個別に指示	
	期末試験	70%	単語10% 文法20% リスニング20% 中国語作文50%		試験後に一斉復習	
DPとの対応	智をいづくしむ力		人をいづくしむ力		命をいづくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	授業の進め方/中国と中国語 第1課:こんにちは(1)単語と本文			特に無し		予習0.5時間 復習0.5時間
2	第1課:こんにちは(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第1課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
3	第2課:あなたは中国人ですか(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第1課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
4	第2課:あなたは中国人ですか(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第2課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
5	第3課:健康保険証を持っていますか(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第2課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
6	第3課:健康保険証を持っていますか(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第3課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
7	第4課:家族にはどんな人がいますか(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第3課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
8	第4課:家族にはどんな人がいますか(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第4課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
9	第5課:あそこで少しお待ちください(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第4課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
10	第5課:あそこで少しお待ちください(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第5課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
11	第6課:少し話せます(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第5課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
12	第6課:少し話せます(2)文法と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第6課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
13	第7課:検査室に行って検査をしてください(1)単語と本文			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語に翻訳(第6課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
14	第7課:検査室に行って検査をしてください(2)本文と練習問題			単語(前回は指定したもの)テスト用準備と中国語で答える練習(第7課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
15	前期試験対策 総復習			今までのテストの見直し(総復習)		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	「医療系学生のための初級中国語」白帝社 山田真一					
参考図書	必要時に紹介する					
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
中級中国語コミュニケーション		BNNBS4E09	10206	2後	1(30)	選択
担当教員	高橋 詩子					
概要	前期に学んだ基礎を持って、後期はいよいよ中国語でよく使う表現を用いて少々高度な文章及び文法を学ぶ。病院内で用いる頻度の高いセッティングの下、実用会話表現をマスターする。また、第14回目に中国語検定講座を設ける。					
到達目標	相手の話を聞き取り、自分の言いたい事を正しく伝えることができる。文法を理解して正しい中国語を習得する。中国語検定(4級/準4級)合格を目指す。					
関連科目	基礎中国語コミュニケーション					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	授業参画	30%	授業参画 15% / 単語小テスト15%		毎回の単語小テストで個別指導	
	定期試験	70%	リスニング20%/単語10% / 会話・発音10%/文法10% / 中国語作文50%			
DPとの対応	智をいづくしむ力		人をいづくしむ力		命をいづくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	第8課: どうしましたか(1) 単語と本文			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語に翻訳(第7課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
2	第8課: どうしましたか(2) 文法と練習問題			単語(前回に指定したもの)テスト準備/中国語で答える練習(第8課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
3	第9課: 口を開けてください(1) 単語と本文			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語に翻訳(第8課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
4	第9課: 口を開けてください(2) 文法と練習問題			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語で答える練習(第9課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
5	第9課: 口を開けてください(3) 応用と会話			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/指定された会話練習		予習0.5時間 復習0.5時間
6	第10課: この薬を飲んだことがありますか(1) 単語と本文			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語に翻訳(第9課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
7	第10課: この薬を飲んだことがありますか(2) 文法と練習問題			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語で答える練習(第10課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
8	第11課: 服をあそこに置いてください(1) 単語と本文			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語に翻訳(第10課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
9	第11課: 服をあそこに置いてください(2) 文法と練習問題			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語で答える練習(第11課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
10	第11課: 服をあそこに置いてください(3) 応用と会話			単語(前回に指定したもの)テスト準備/指定された会話練習		予習0.5時間 復習0.5時間
11	第12課: 病状はずっとよくなりました(1) 単語と本文			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/中国語に翻訳(第11課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
12	第12課: 病状はずっとよくなりました(2) 文法と練習問題			単語(前回に指定したもの)テスト準備/中国語で答える練習(第12課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
13	第12課: 病状はずっとよくなりました(3) 応用と会話			単語(前回に指定したもの)テスト用準備/指定された会話練習(第12課内容)		予習0.5時間 復習0.5時間
14	中国語検定(4級/準4級)指導			単語(前回に指定したもの)テスト用準備		予習0.5時間 復習0.5時間
15	後期テスト対策 総復習			後期単語テストの復習		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	「医療系学生のための初級中国語」白帝社 山田真一					
参考図書	必要時に紹介する					
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
栄養学	BNNSB3L07	20107	2後	1(30)	必須
担当教員	両角 美幸				
概要	人間の生命を維持、健康の保持・増進、成長発達、 疾病予防 、また疾病からの回復において「 栄養 」の果たす役割は非常に大きい。ここでは栄養学についての基本的知識を網羅すると共に、看護学と関連する諸側面を学習する。 各栄養素の特徴と役割 、消化・排泄・代謝機能との関係、 病態栄養 などについて学習する。				
到達目標	1各栄養素の特徴と役割、欠乏症と過剰症について説明することができる。 2消化・排泄・代謝機能との関係を説明することができる。 3病態別に適した食事の特徴をわかりやすく説明することができる。 4看護師としての栄養へのかかわり方を簡潔に説明することができる。				
関連科目	健康論、生命の科学、微生物学、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	80%	到達目標1・2・3・4 各15%	定期試験後に全体的に解説ポイントを提示	
	小テスト	20%	到達目標1・2・3・4 毎回授業で確認20%	返却時、授業中に解説	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践 ○
回	学修内容			予習・復習内容	取組時間
1	ガイダンス 栄養学を学ぶということ。食事における看護師の役割		予習:教科書はしがきP1~2第1章P1栄養とは P12~14を読み内容を理解する 復習:本科目の終了後に自分は何かができるようになってきているかを記載する。	予習0.5時間 復習0.5時間	
2	栄養素の種類と働き ① 糖質		予習:P18 糖質とは種類。 復習:P19~20糖質の働き	予習0.5時間 復習0.5時間	
3	栄養素の種類と働き ②脂質		予習:P18 糖質とは種類。 復習:P19~20糖質の働き	予習0.5時間 復習0.5時間	
4	栄養素の種類と働き ③たんぱく質		予習:P23 タンパク質とは 働き。 復習:P25必須アミノ酸	予習0.5時間 復習0.5時間	
5	栄養素の種類と働き ④ビタミン		予習:P27 ビタミンとは 種類。 復習:P28~32ビタミン欠乏症、過剰症	予習0.5時間 復習0.5時間	
6	栄養素の種類と働き ⑤ミネラル		予習:P32~40 ミネラル 復習:ミネラル働き、欠乏症。過剰症のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
7	栄養素の種類と働き⑥食物繊維・水		予習:P40~42 食物繊維、水 復習:食物繊維・水のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
8	食物の消化 三大栄養素の消化		予習:p46~52 食物の消化 三大栄養素の消化 復習:三大栄養素の消化についてまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
9	食物と栄養素の吸収・排泄①		予習:P55~59 三大栄養素の吸収、吸収率 復習:三大栄養素の吸収のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
10	食物と栄養素の排泄② 尿		予習:P70~72 尿による排せつ P218 ~219高尿酸血症・痛風 復習:各食事療法のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
11	臨床栄養 病院食 栄養補給法		予習:P189 病院食の意義。 復習:P192 特別治療食	予習0.5時間 復習0.5時間	
12	疾病と栄養① メタボリックシンドローム		予習:P206~207メタボリックシンドローム P165 168 成人期における栄養 復習:各食事療法のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
13	疾病と栄養② 循環器疾患の食事療法		予習:P208~210循環器系疾患の種類。 復習:P208~210各食事療法のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
14	疾病と栄養②消化器・肝臓・膵臓疾患患者の食事療法		予習:P210~212消化器疾患の種類。 復習:P210~216各食事療法のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
15	食事摂取基準の概要 後期のまとめ		予習:P93 食事摂取基準とは、指標 復習:P253 日本人の食事摂取基準抄録後期のまとめ	予習0.5時間 復習0.5時間	
使用テキスト	2022年版「系統看護学講座」専門基礎分野 人体の構造と機能(3)「栄養学」医学書院				
参考図書	2022年版「系統看護学講座」別巻「栄養食事療法」医学書院				
教員に対する質問方法	教務部へメール(メールアドレス:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
公衆衛生学		BNNSB3L21	20402	2前	1(30)	必修
担当教員	石井 敦子	実務歴	有	保健師として行政に10年勤務		
概要	公衆衛生の基盤となる理念や考え方にに基づき、 人々を取り巻く環境 のさまざまな要因が 個人や集団の健康 ・社会生活に及ぼす影響について理解を深め、 疾病の予防 や 健康増進 、地域の健康レベルの向上を目指す保健医療に関する知識を習得する。また、 人々の健康を守るための組織、機関 および医療従事者の役割や機能への理解を深め、 公衆衛生活動 の展開についても学ぶ。					
到達目標	1. 公衆衛生の概念とその社会的意義について説明できる 2. 人々を取り巻く環境が人々の健康にどのような影響をもたらすのかについて説明できる 3. 公衆衛生における保健統計や疫学の意義について述べるができる 4. 人々の健康を守るための公衆衛生活動における看護職の役割について述べるができる					
関連科目	公衆衛生看護学					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	40	1-10%、2-10%、 3-10%、4-10%	定期試験後に全体的な解説やポイントを掲示		
	課題(小レポート)	40	1-10%、2-10%、 3-10%、4-10%	コメントを記述し返却		
	授業参画	20	1-5%、2-5%、 3-5%、4-5%			
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	公衆衛生の概念、歴史			【予習】テキストp.2-p.43を読み、まとめておく 【復習】テキストp.44の問題を解き、講義内容を復習する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	公衆衛生の活動対象			【予習】テキストp.47の1~3の問いを考えておく 【復習】テキストの第2章(p.47~p.62)を読み、講義内容を加えて整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
3	公衆衛生のしくみ(健康政策と衛生行政)			【予習】居住市町村の保健センターで行われている活動を調べまとめておく 【復習】テキストp.89~p.90の問題を解き、講義内容を復習する		予習0.5時間 復習0.5時間
4	集団の健康をとらえるための手法 —疫学・保健統計—			【予習】テキストp.92~p.115を読み、まとめておく 【復習】居住市町村の統計資料から、「居住地域の健康」について的小レポート作成		予習0.5時間 復習0.5時間
5	環境と健康 —物理・化学的環境, 生活環境衛生—			【予習】テキストの第5章(p.118~p.151)を読み、まとめておく 【復習】テキストp.152の問題を解き、講義内容を復習する		予習0.5時間 復習0.5時間
6	感染症とその予防対策			【予習】テキストの第6章(p.154~p.179)を読み、まとめておく 【復習】テキストp.179~p.180の問題を解き、講義内容を復習する		予習0.5時間 復習0.5時間
7	地域における公衆衛生の実践 —母子保健—			【予習】居住市町村の母子保健活動を調べ体系的に整理する 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
8	地域における公衆衛生の実践 —成人保健—			【予習】居住市町村の成人保健活動を調べ体系的に整理する 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
9	地域における公衆衛生の実践 —高齢者保健—			【予習】居住市町村の高齢者保健活動を調べ体系的に整理する 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
10	地域における公衆衛生の実践 —精神保健—			【予習】居住市町村の精神保健活動を調べ体系的に整理する 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
11	地域における公衆衛生の実践 —難病保健—			【予習】居住市町村の難病保健活動を調べ体系的に整理する 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
12	地域の公衆衛生の課題についてグループ ディスカッション			【予習】提示された事前課題を調べ、まとめておく 【復習】グループディスカッションを踏まえた小レポート作成		予習0.5時間 復習0.5時間
13	学校保健・産業保健			【予習】テキストの第9章・第10章(p.314~p.359)を読み、まとめておく 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
14	健康危機管理			【予習】テキストの第11章(p.362~p.379)を読み、まとめておく 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
15	国際保健			【予習】テキストの第7章(p.182~p.194)を読み、まとめておく 【復習】講義内で得た内容を追加する		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	神馬征峰他(2020)『系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②』,医学書院.					
参考図書	厚生労働統計協会(2021)『国民衛生の動向2021/2022』,一般社団法人構成労働統計協会.					
教員に対する質問方法	メールアドレス:a_ishii@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動援助論Ⅱ		BNNSS2L05	30105	2前	1(30)	必修
担当教員	◎伊東 美佳	実務歴				
担当教員	内田 浩江	実務歴				
担当教員	井上 貴子	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	鯨坂 由紀	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
概要	人間の内部環境を整えるための 治療・処置・検査 について 科学的根拠 をもとに学修する。さらに、これらが生活行動に及ぼす影響を考える。					
到達目標	1. 治療・処置・検査に関連する科学的根拠を説明できる 2. 治療・処置・検査が生活行動に及ぼす影響を説明できる					
関連科目	生活行動援助論演習Ⅱ					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70%	到達目標1、2-70%	定期試験後のレビューで説明		
	事前・事後課題、授業参画	30%	到達目標1、2-30%	コメントを記述し返却もしくは授業時に説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践 ◎	
回	学修内容	予習・復習内容 (テキスト番号は使用テキスト欄を参照のこと)				取組時間
1	ガイダンス 『安全』を守る援助 :スタンダードプリコーション :滅菌手袋の着脱 :無菌操作 :創傷管理	【予習】 :シラバスを読む、テキスト関連箇所を読む 【復習】 :学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①:第8章A~B、テキスト②:第8章1、第12章1~5、テキスト③:第2章A~F				予習0.5時間 復習0.5時間
2	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 :検査の種類 :静脈血採血	【予習】 :テキスト関連箇所を読む 【復習】 :学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①:第11章A~B、テキスト②:第11章3、第12章6、第13章2、テキスト③:第2章G、第3章D				予習0.5時間 復習0.5時間
3	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 :静脈血採血	【予習】 :テキスト関連箇所を読む 【復習】 :学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①:第11章A~B、テキスト②:第11章3、第12章6、第13章2、テキスト③:第2章G、第3章D				予習0.5時間 復習0.5時間
4	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 :静脈血採血	【予習】 :テキスト関連箇所を読む 【復習】 :学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①:第11章A~B、テキスト②:第11章3、第12章6、第13章2、テキスト③:第2章G、第3章D				予習0.5時間 復習0.5時間
5	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 :与薬法	【予習】 :テキスト関連箇所を読む 【復習】 :学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①:第9章A~G、テキスト②:第9章1~3、第13章1~2、テキスト③:第3章A~B、D				予習0.5時間 復習0.5時間

6	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：注射法(静脈内注射、点滴静脈内注射)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、テキスト③：第3章A～D	予習0.5時間 復習0.5時間
7	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：注射法(皮内注射、皮下注射、筋肉内注射)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、テキスト③：第3章A～D	予習0.5時間 復習0.5時間
8	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：注射法(皮内注射、皮下注射、筋肉内注射)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、テキスト③：第3章A～D	予習0.5時間 復習0.5時間
9	「息をする」ことを整える援助 ：排痰ケア、吸入	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第7章B、D、テキスト②：第7章3～4	予習0.5時間 復習0.5時間
10	『息をする』ことを整える援助 ：酸素療法	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第7章A、テキスト②：第7章1	予習0.5時間 復習0.5時間
11	『息をする』ことを整える援助 ：口腔・鼻腔吸引	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第7章B、テキスト②：第7章2	予習0.5時間 復習0.5時間
12	『食べる』ことを整える援助 ：経管栄養法、食べることに関連する検査	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第2章D、テキスト②：第2章4	予習0.5時間 復習0.5時間
13	「排泄する」ことを整える援助 ：導尿、尿に関連する検査	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第3章B、第11章B、テキスト②：第3章3、第11章4	予習0.5時間 復習0.5時間
14	『排泄する』ことを整える援助 ：洗腸、摘便、便に関連する検査	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう テキスト①：第3章C、第11章B、テキスト②：第3章4、第11章5	予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ(生活行動援助論演習Ⅱまとめ含む)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む 【復習】 ・学習した内容のテキスト関連箇所を読みまとめる、授業で提示された事後課題を行なう	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	①任和子(2021):系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学技術Ⅱ 基礎看護学3 医学書院。 ②任和子(2021):根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 医学書院。 ③茂野香おる(2021):系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 医学書院。 ④ロイノートスクール		

参考図書	・藤本真記子(2018):看護技術が見える Vol. 1 基礎看護技術 メディックメディア. ・近藤一郎(2018):看護技術が見える Vol. 2 臨床基礎看護技術 メディックメディア. ＊その他は適宜紹介する
教員に対する質問方法	メールアドレス:m_ito@kyotokango.ac.jp(伊東 美佳)、n_yoshida@kyotokango.ac.jp(吉田 乃里子)、 t_inoue@kyotokango.ac.jp(井上 貴子)、y_ajisaka@kyotokango.ac.jp(鱒坂 由紀)、 オフィスアワー 在校生HPを確認

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動援助論演習Ⅱ		BNNSS3E06	30106	2前	2(30)	必修
担当教員	◎伊東 美佳	実務歴				
担当教員	内田 浩江	実務歴				
担当教員	井上 真子	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	鯨坂 由紀	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
概要	生活行動援助論Ⅱの学修内容を基に、 治療・処置・検査に関する基本技術 について、 安全性・安楽性・自立性・自律性 を考慮した実践方法を修得する。					
到達目標	1. 科学的根拠を踏まえ、安全性・安楽性・自立性・自律性を考慮して、治療・処置・検査に関する基本的技術を実践できる					
関連科目	生活行動援助論Ⅱ					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-60%	定期試験後のレビューで説明		
	事前・事後課題、授業参画	40%	到達目標1-40%	コメントを記述し返却もしくは授業時に説明		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践 ◎	
回	学修内容		予習・復習内容 (テキスト番号は使用テキスト欄を参照のこと)			取組時間
1・2	ガイダンス 『安全』を守る援助 :個人防護用具の着脱 :滅菌物の取り扱い①滅菌手袋の着脱		【予習】 ・シラバスを読む ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・授業で提示された事後課題を行なう テキスト②:第12章1~3、テキスト③:第2章A~D (動画)テキスト②:第12章「滅菌手袋の着用」			予習1時間 復習1時間
3・4	『安全』を守る援助 :滅菌物の取り扱い②無菌操作 :創傷処置		【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト②:第8章1、第12章1~5、テキスト③:第2章A~F (動画)テキスト②:第12章「滅菌包みの開け方」「清潔区域の作り方」 第8章「ガーゼの固定」「テープの固定」「テープのはがし方」			予習1時間 復習1時間
5・6	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 :採血の準備 :静脈血採血		【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①:第11章A~B、 テキスト②:第11章3、第12章6、第13章2、テキスト③:第2章G、第3章D (動画)テキスト②:第11章「静脈血採血」			予習1時間 復習1時間

7・8	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：静脈血採血	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第11章A～B、テキスト②：第11章3、第12章6、第13章2、 テキスト③：第2章G、第3章D (動画)テキスト②：第11章「静脈血採血」	予習1時間 復習1時間
9・10	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：静脈血採血	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第11章A～B、テキスト②：第11章3、第12章6、第13章2、 テキスト③：第2章G、第3章D (動画)テキスト②：第11章「静脈血採血」	予習1時間 復習1時間
11・12	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：点滴の準備(バイアルからの吸い上げ、ミキシング、プ ライミング)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、 テキスト③：第3章A～B、D (動画)テキスト②：第9章「注射器の準備」「バイアルからの吸い上げ」 「静脈内注射の刺入の準備」「静脈内注射の刺入(翼状針)」「プライミング」	予習1時間 復習1時間
13・14	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：点滴の準備(バイアルからの吸い上げ、ミキシング、プ ライミング) ：点滴静脈内注射	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、テキスト③：第3章A ～B、D (動画)テキスト②：第9章「注射器の準備」「バイアルからの吸い上げ」「静脈内 注射の刺入の準備」「静脈内注射の刺入(翼状針)」「プライミング」	予習1時間 復習1時間
15・16	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：点滴静脈内注射	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、 テキスト③：第3章A～D (動画)テキスト②：第9章「注射器の準備」「バイアルからの吸い上げ」 「静脈内注射の刺入の準備」「静脈内注射の刺入(翼状針)」「プライミング」	予習1時間 復習1時間
17・18	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：注射の準備(アンブルからの吸い上げ)	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、 テキスト③：第3章A～B、D (動画)テキスト②：第9章「アンブルからの吸い上げ」「皮下注射」	予習1時間 復習1時間
19・20	『日常生活を支えるからだの機能』を整える援助 ：皮下注射	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第9章H、テキスト②：第9章4、第13章1～2、 テキスト③：第3章A～B、D (動画)テキスト②：第9章「アンブルからの吸い上げ」「皮下注射」	予習1時間 復習1時間
21・22	『息をする』ことを整える援助 ：排痰ケア、酸素療法	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第7章A～B、D、テキスト②：第7章1、3～4 (動画)テキスト②：第7章 「中央配管方式による酸素投与」「酸素ボンベによる酸素投与」	予習1時間 復習1時間
23・24	『息をする』ことを整える援助 ：吸引	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①：第7章B、テキスト②：第7章2 (動画)テキスト②：第7章「鼻腔内吸引」「口腔内吸引」	予習1時間 復習1時間

25・26	『食べる』ことを整える援助 経鼻経管栄養法	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①:第2章D、テキスト②:第2章4 (動画)テキスト②:第2章「経鼻経管栄養チューブの固定」	予習1時間 復習1時間
27・28	『排泄する』ことを整える援助 :持続的導尿	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①:第3章B、第11章B、テキスト②:第3章3、第11章4 (動画)テキスト②:第3章 「カテーテル挿入の準備」「男性の持続的導尿」「女性の持続的導尿」	予習1時間 復習1時間
29・30	『排泄する』ことを整える援助 :浣腸	【予習】 ・テキスト関連箇所を読む／動画を視聴する 【復習】 ・事後課題を行なう テキスト①:第3章C、第11章B、テキスト②:第3章4、第11章5 (動画)テキスト②:第3章「グリセリン浣腸の準備」「グリセリン浣腸」	予習1時間 復習1時間
使用 テキスト	①任和子(2021):系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学技術II 基礎看護学3 医学書院. ②任和子(2021):根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 医学書院. ③茂野香おる(2021):系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学技術I 基礎看護学2 医学書院. ④ロイロノートスクール		
参考図書	・藤本真記子(2018):看護技術が見える Vol. 1 基礎看護技術 メディックメディア. ・近藤一郎(2018):看護技術が見える Vol. 2 臨床基礎看護技術 メディックメディア. *その他は適宜紹介する		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:m_ito@kyotokango.ac.jp(伊東 美佳)、n_yoshida@kyotokango.ac.jp(吉田 乃里子)、 t_inoue@kyotokango.ac.jp(井上 貴子)、y_ajisaka@kyotokango.ac.jp(鯉坂 由紀)、 オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護現象と看護診断		BNNSS4L07	30107	2後	1(30)	必修
担当教員	◎中島 優子	実務歴	有	看護師として病院に11年勤務		
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務		
担当教員	田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	久留島 実姫	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
概要	看護診断についての基礎的知識とその思考過程について学ぶ。さらに、看護現象や対象の状態から看護診断に結び付ける過程について理解する。さらに看護診断の諸領域と、その診断概念の背景にある中範囲理論についての学びを通して、看護上の問題を様々な理論をもとに査定する方法について理解を深める。(オムニバス方式/全15回)					
到達目標	1. 看護診断の意味・意義について説明できる。 2. 看護診断(NANDA-I)のタクソミーについて説明できる。 3. 診断概念の背景となる中範囲理論を活用して看護介入を予測することができる。 4. 看護専門職として看護診断を行う意義について論じることができる。					
関連科目	看護過程論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	85%	到達目標1:15% 到達目標2:15% 到達目標3:50% 到達目標4:5%	定期試験後のレビューで説明		
	提出物	15%	到達目標3:10% 到達目標4:5%	提出後の次講義で総評を解説 最終講は総評を掲示		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	ガイダンス ・ディプロマポリシーと本科目の位置づけ ・授業概要と到達目標および予習・復習内容 「看護を必要とする現象」- 看護問題と「看護診断」		予習:シラバスを読む。 復習:看護現象とは何か、看護診断とは何か記述する。			予習0.5時間 復習0.5時間
2	「看護の必要性を診断する」プロセス、看護診断分類の開発および変遷と発展		予習:テキスト①「看護診断の基本」(P53~80)を読む。 復習:看護現象とは何か、看護診断とは何か、見直しと追記を行う。			予習0.5時間 復習0.5時間
3	臨床推論とは、そのプロセス		予習:テキスト①「臨床推論」(P81~107)を読む。 復習:専門職として臨床推論を行う上で何が重要か記述する。			予習0.5時間 復習0.5時間
4	NANDA-I 看護診断分類:タクソミー II、看護診断の種類、記述法		予習:テキスト①「NANDA-I看護診断の分類法入門」(P108~130)、 「NANDA-I看護診断分類法の仕様と定義」(P131~143)を読む。 復習:タクソミー II を覚える。			予習0.5時間 復習0.5時間
5	中範囲理論と看護診断① 「ヘルスプロモーション」等の理解を深める保健行動的中範囲理論①		予習:テキスト②「中範囲理論とは」(P2~P24) 「保健行動的中範囲理論」(P26~P76)を読む。 復習:再度テキスト②の「保健行動的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
6	中範囲理論と看護診断② 「自己知覚」などの理解を深める認知的中範囲理論		予習:テキスト②「認知的中範囲理論」(P168~231)を読む。 復習:再度テキスト②「認知的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
7	中範囲理論と看護診断③ 「ストレス・コーピング耐性」などの理解を深める情動的中範囲理論		予習:テキスト②「情動的中範囲理論」(P234~349)を読む。 復習:再度テキスト②「情動的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
8	中範囲理論と看護診断④ 「役割関係」などの理解を深める社会的中範囲理論		予習:テキスト②「社会的中範囲理論」(P352~P402)を読む。 復習:再度テキスト②の「社会的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
9	中範囲理論と看護診断⑤ 「安楽」「成長/発達」などの理解を深める統合的中範囲理論		予習:テキスト②「統合的中範囲理論」(P404~506)を読む。 復習:再度テキスト②「統合的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
10	中範囲理論と看護診断⑥ 「ヘルスプロモーション」等の理解を深める保健行動的中範囲理論②		予習:テキスト②「保健行動的中範囲理論」(P77~165)を読む。 復習:再度テキスト②の「保健行動的中範囲理論」を読む。			予習0.5時間 復習0.5時間
11	事例①:事例を読み込む		予習:講義1~3の資料を読む。 復習:事例に関心を寄せて読み込む。			予習0.5時間 復習0.5時間

12	事例②:スクリーニングアセスメント(詳細アセスメント)	予習:中範囲理論の復習 アセスメントするために必要な病態生理、薬等を調べる。 復習:13領域についてアセスメントし、統合する。	予習0.5時間 復習0.5時間
13	事例③:スクリーニングアセスメント(詳細アセスメントの共有)	予習:13領域のアセスメント、統合を完成させる。 復習:不足していたアセスメントを追加する。	予習0.5時間 復習0.5時間
14	事例④:診断候補の確定/否定～診断の確定/優先順位づけ	予習:テキスト①診断候補の定義等を読む。 復習:診断の確定、優先順位について考えをまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
15	事例⑤:情報のクラスタリング～診断の確定/優先順位づけの共有	予習:根拠を持って診断を確定し、優先順位をつける。 復習:看護専門職として看護診断を行う意義について記述する。	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	①日本看護診断学会 監訳(2021)『NANDA-I 看護診断 定義と分類・2021-2023・原書第12版』 ②黒田裕子 監修(2015)「看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第2版」		
参考図書	適宜紹介する		
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:y_nakashima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護過程論		BNNSS3L08	30108	2前	1(30)	必修
担当教員	◎久留島 実姫	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
概要	問題解決思考、批判的思考を活用し、看護の対象となる人々の 健康状態を身体的・心理的・社会的側面からアセスメント し、個別性のある看護を実践、評価する 「看護過程」 について学ぶ。 本科目では、紙上事例(ペーパーペイシエント)を用いて、看護過程を実施し、修得することを目指す。なお、授業は講義前の個人課題を基にグループ、ペアなどのワークを行い、個々の学修を深めるための授業形態で行う。					
到達目標	1. 看護実践に必要な情報収集ができる 2. 収集した情報をアセスメントできる 3. アセスメントの結果から看護上の問題を明確化できる 4. 看護上の問題と看護診断を照合できる 5. 看護上の問題を解決するための看護計画を立案できる 6. 実践した看護の評価の視点を記述できる					
関連科目	看護学原論、生活行動援助論Ⅰ・Ⅱ、生活行動援助論演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルス・フィジカルアセスメント 生活行動援助論実習Ⅱ、看護現象と看護診断					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	事前課題	28	到達目標1~6	講義中に全体に対して行う		
	事後課題	72	到達目標1~6	Teamsで行う		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	◆ガイダンス ・ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーから見た本科目の位置づけ ・看護過程論の受講方法(事前課題・事後課題・グループ課題など) ・HPAの学修の振り返り			【事前課題】 ①シラバスを読む ②看護がみえる4(以下、看みえ4)全体と医学書院のテキスト(以下、テキスト)の第5章にざっと目を通し、本科目の学修内容を理解する 【事後課題】 ①Teamで出された課題を期限内実施し提出する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	◆STEP1(事例1) ・アセスメントガイドを使ったアセスメントに挑戦する			①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく		予習0.5時間 復習0.5時間
3	◆STEP2(事例2) ・アセスメント			①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく		予習0.5時間 復習0.5時間
4	◆STEP2(事例2) ・看護上の問題と看護診断の照合 ・看護上の問題を解決する優先順位			①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく		予習0.5時間 復習0.5時間
5	◆STEP2 ・看護計画の立案			①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく		予習0.5時間 復習0.5時間
6	◆STEP2 ・評価の視点 ◆STEP3 ・アセスメント			①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく		予習0.5時間 復習0.5時間

7	◆STEP3(事例3) ・アセスメント(追加と修正)	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
8	◆STEP3 ・看護上の問題と看護診断の照合 ・看護上の問題を解決する優先順位	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
9	◆STEP3 ・看護計画の立案	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
10	◆STEP4(事例4) ・アセスメント	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
11	◆STEP4(事例4) ・アセスメント(追加と修正)	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
12	◆STEP4 ・看護上の問題と看護診断の照合 ・看護上の問題を解決する優先順位	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
13	◆STEP4(事例4) ・看護計画の立案 ・評価の視点	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
14	◆事例1～4の振り返り	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ	①Teamで出された課題を期限内に提出する ②看みえ4、医学書院テキストを読む ③自己学習で行き詰った部分を書き出しておく ④分からない語句は調べておく	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	1.医療情報科学研究所(編集):看護がみえる4,メディックメディア. 2.ロイロノートスクール		
参考図書	1.有田 清子他:《系統看護学講座 専門分野 I》基礎看護学[2]基礎看護技術 I,第16版4刷,医学書院.		
教員に対する 質問方法	常勤:Teamsチャット、 メールアドレス:m_kurushima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
国際看護論		BNNSS7L18	30208	2前	1(15)	必修
担当教員	磯邊厚子	実務歴	有	看護師として国際看護に10年		
概要	国境を越えた グローバルな健康課題 、身近な 在日外国人医療 への対応など、 国際的視野 をもって看護を行うことが必要になった。さまざまな国の人々の生活や健康状況を理解し、看護職にどのような役割が求められているか、国際協力の仕組みや国際機関、民間団体の 国際協力活動 の現状を学び、国際支援のあり方を知る。また国内の 看護の国際化 に目を向けながら、課題と展望を考察していく。					
到達目標	1. 看護を实践する上で国際的な視野をもつことの必要性を述べることができる。 2. 世界規模の健康課題に対する基本概念を説明できる。 3. 国際協力の仕組みと看護の役割を説明できる。 4. 多様な社会・文化的背景を持つ対象への看護のあり方を説明できる。					
関連科目	公衆衛生看護学、栄養学、保健統計学、異文化コミュニケーション論、情報リテラシー、災害看護論、社会福祉、基礎英語・中級英語コミュニケーション、医学・看護英語リーディング、看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-10% 到達目標2-15% 到達目標3-20% 到達目標4-15%	1) 定期試験後のレビューで説明		
	課題 授業への参加	40%	到達目標1-5% 到達目標2-10% 到達目標3.4-25% (中間課題10%、事後課題15%)	2) レポート:コメントを記述し返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	国際看護を学ぶにあたって - 基本概念 - 健康とは 看護とは			【予習】p.4~26、p.58~63を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
2	世界規模での人々の健康課題-MDGs目標~持続可能な開発目標SDGs			【予習】p.58~69を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
3	世界の健康課題に関わる国内外の国際協力機関 (UNDP, UNICEF, WHO, UNHCR, ODA, NGO, 他)			【予習】p.75~78、96~100を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
4	看護活動の場と対象-保健医療システムと看護職の課題			【予習】p.80~94、117~121、189~205を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
5	異文化の理解と看護:文化的アプローチ			【予習】p.28~56、189~195を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
6	感染症と看護:国際的取り組みと予防対策			【予習】p.64~69、152~156、183~188を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
7	母子保健と子どもの看護:妊産婦の健康と子どもの栄養			【予習】p.157~161、209~210、213を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習2時間 復習2時間
8	看護活動の鍵:コミュニケーション力、協調性、調整力、多様性の尊重、自立と自律			【予習】p.136~138を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う		予習1時間 復習1時間
使用テキスト	森淑江他編集, 国際看護:国際社会の中で看護の力を発揮するために, 南江堂(最新版)					
参考図書	1.国際看護交流協会(2010). NURSING IN THE WORLD 5th. 2.UNDP 人間開発報告書(全年) 3.M. レイニンガー 石井邦子訳(1995).レイニンガー看護論-文化ケアの多様性と普遍性. 医学書院. 4.JOCV看護職ネットワーク(2003).世界を翔けたナースたち.社団法人青年海外協力協会					
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:a_isobe@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
地域生活・在宅支援論		BNNSS3L20	30301	2前	2(60)	必修
担当教員	◎和田 恵美子	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーションに14年勤務		
担当教員	磯邊 厚子	実務歴				
担当教員	鎌田 智広	実務歴				
概要	在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念を学ぶ。在宅看護の対象者の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。在宅ケアにおけるケアマネジメントや地域包括ケアシステムの基本、関係機関・職種との連携の必要性、社会資源を学ぶ。					
到達目標	1.在宅看護の目的と基本理念について述べるができる。 2.在宅看護の対象者の特性とその支援について述べるができる。 3.在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。 4.在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を説明できる。 5.現在の訪問看護制度の基本を述べるができる。 6.訪問看護サービス提供の活用について説明できる。					
関連科目	在宅支援論演習、公衆衛生看護学、高齢者支援論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70	到達目標2:15%	定期試験のレビューで説明		
			到達目標3:25%			
			到達目標4:15%			
			到達目標5:15%			
	課題	30	到達目標1:5%	講義中に適宜レビューで説明		
到達目標2:5%						
到達目標4:10%						
到達目標5:10%						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	人々の暮らしと地域・在宅看護と地域への理解 *暮らしを理解し、看護師の関わりを考える ①第1章P12～23/ワークP25～29			予習:序章を読む 復習:講義中のワークを仕上げる		予習0.5時間 復習0.5時間
2						予習0.5時間 復習0.5時間
3	地域包括ケアシステムとは *暮らしと地域を理解するための考え方を知る ①第2章P32～50/ワークP51～55			予習:講義内容を読んでおく 復習:ワークを仕上げる		予習0.5時間 復習0.5時間
4						予習0.5時間 復習0.5時間
5	地域・在宅看護の対象者 *対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解する ①第3章P58～75/①第4章P110～115、第4章①P117～133/②第2章P50～56			予習:②の序章を読んでおく/講義内容を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
6						予習0.5時間 復習0.5時間
7	地域における家族への看護 *家族の理解が基本的にできるようになる ◎研究紹介「家族介護者の介護力の源となるもの」 ①第3章P75～94/115～116/②第2章P62～70/①ワークP95～101			予習:講義内容を読んでおく 復習:ワークを仕上げる		予習0.5時間 復習0.5時間
8						予習0.5時間 復習0.5時間
9	地域における暮らしを支える看護 *療養環境調整を考える、看護師とともに連携して働く医療福祉専門職の役割を理解する ①第4章P104～110/②第2章P87～94①第5章P144～162/ワークP163～165			予習:講義内容を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
10						予習0.5時間 復習0.5時間
11	在宅看護の提供方法/退院支援・退院調整/入退院時の訪問看護師の役割 *各時期の看護のおもな特徴と目的について考える DVD視聴、②第3章P230～250			予習:講義内容を読んでおく 復習:各時期の看護目標・看護計画を理解する		予習0.5時間 復習0.5時間
12						予習0.5時間 復習0.5時間

13	介護保険制度・医療保険制度/法制度 * 知っておくべき法制度を学び、介護保険制度の概要を理解する	予習:すこやか進行中・京都市 2022を検索し、読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
14	①第6章P168～182/P200～210 すこやか進行中・京都市 2022		予習0.5時間 復習0.5時間
15	訪問看護ステーション開設の企画書作成	予習:①第6章P183～200を読んでおく 講義とグループワーク/進捗状況を提出	予習0.5時間 復習0.5時間
16	①開設の準備を行う(場所の設定・ステーション名、必要物品を考える)		予習0.5時間 復習0.5時間
17	訪問看護ステーション開設の企画書作成	講義とグループワーク/進捗状況を提出	予習0.5時間 復習0.5時間
18	②運営の準備を行う(訪問看護の1日、週間スケジュールを考える)		予習0.5時間 復習0.5時間
19	訪問看護ステーション開設の企画書作成	講義とグループワーク/進捗状況を提出	予習0.5時間 復習0.5時間
20	③収支計画を行う(訪問看護の診療報酬・介護報酬から収入と支出を考える)		予習0.5時間 復習0.5時間
21	訪問看護ステーション開設の企画書作成	講義とグループワーク/事業計画を提出	予習0.5時間 復習0.5時間
22	④事業計画を完成させる(利益をもとに計画を考える)		予習0.5時間 復習0.5時間
23	ケアマネジメントと社会資源/地域における多職種連携 * 地域・在宅看護マネジメントとはどのようなものかを理解する	予習:①第5章P154～162と講義内容を読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
24	◎京都市中京区在宅医療・介護連携支援センターにおける「医療・介護アンケート結果の紹介」 ①第6章P197～200/②第6章P360～382②/第5章P342～357		予習0.5時間 復習0.5時間
25	療養上のリスクマネジメント/感染の防止/災害に対する準備と対応/ 在宅看護における権利保障	予習:講義内容を読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
26	* 暮らしの中にあるリスクを知り、看護の役割について理解する、 災害対策における地域・在宅看護の役割をり枚する ①第4章P133～142/P207～210/②第2章P70～86		予習0.5時間 復習0.5時間
27	在宅看護過程の展開のポイントと展開方法	予習:ICFモデルについて調べる/講義内容を読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
28	* 在宅看護の特性をふまえた地域・在宅看護過程の展開におけるポイントを理解する ②第1章P12～48		予習0.5時間 復習0.5時間
29	地域・在宅看護活動/介護保険制度と訪問看護の制度の復習	予習:講義内容を読んでおく 復習:①第6章P168～210	予習0.5時間 復習0.5時間
30	* 介護保険制度の概要について、介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについて理解を深める。 ②第7章P384～395		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	①秋山正子、他 系統別看護講座 『地域・在宅看護論[1]..地域・在宅看護の基盤』 2022 医学書院 ②秋山正子、他 系統別看護講座『地域・在宅看護論[2]..地域・在宅看護の実践』 2022 医学書院 ③鎌田智広、他『訪問看護接遇マナーハンドブック』2019 ラグーナ出版		
参考図書	河野あゆみ『地域・在宅看護論』2021 メヂカルフレンド社 島内節・栗盛須雅子『在宅での療養と介護を支える制度のかしこい使い方 乳幼児から高齢者まで』2020 医学と看護社		
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:e_wada@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
在宅支援論演習		BNNSS4E21	30302	2後	2(60)	必修
担当教員	◎和田 恵美子	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーションに14年勤務		
担当教員	磯邊 厚子	実務歴	有			
担当教員	鎌田 智広	実務歴	有			
概要	在宅における日常生活援助ならびに医療的援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的展開方法を学ぶ。療養者の生活を①疾患・医療ケア、②活動、③環境、④理解・意向の4領域に区分してとらえ、生活の場における看護の特徴を踏まえた看護過程の展開を通じて、適切なケアの実践を学ぶ。					
到達目標	1.在宅療養者の24時間の日常生活行動を考えることができる。 2.在宅における援助技術や医療的援助が説明できる。 3.対象特性に応じたアセスメントができる。 4.在宅看護過程の展開方法が事例を通じて実践できる。					
関連科目	地域生活・在宅支援論、生活行動援助論演習Ⅱ、高齢者支援論演習、小児看護学、生活行動回復看護論演習、セルフケア支援論演習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	60	到達目標1:10%		定期試験後のレビューで説明	
			到達目標2:30%			
			到達目標3:20%			
レポート	40	到達目標3:15% 到達目標4:25%		コメントを記述もしくは、返却時にレビュー		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人の人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	在宅で求められる技術/コミュニケーション・活動と休息 *暮らしの場で看護を行う前におさえておく心構え、対象者や家族との対話やコミュニケーションについて理解する			②第2章P57～62、P94～106を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
2	在宅で求められる技術/食生活・嚥下/DVD視聴 *暮らしの場で安全に安楽に食事の援助ができることを考える			②第2章P106～137を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
3	在宅で求められる技術/排泄に関する援助/DVD視聴 *暮らしにおける排泄援助について、療養者に適した排泄方法を学ぶ			②第2章P137～161を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
4	在宅で求められる技術/清潔に関する援助・安楽な援助 *暮らしの場で看護を行うために必要な家族を支える援助について理解する			②第2章P161～175を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
5	難病患者のコミュニケーションツールの透明文字盤を作成し、コミュニケーション支援の実践を学ぶ 演習①			予習:コミュニケーション障害(ALS)を調べる 復習:体験した学び(infoのアンケート)		予習1時間 復習1時間
6						
7	在宅で求められる技術/呼吸・循環に関する援助 /DVD視聴 *呼吸・循環のアセスメント、援助の方法を理解する			②第2章P175～206を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
8	在宅で求められる技術/与薬に関する技術 *与薬方法ごとにおける在宅ケアのポイントを理解する			②第2章P220～227を読んでおく		予習0.5時間 復習0.5時間
9	非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)/在宅酸素療法(HOT) 演習② ・酸素濃縮器(HOT)や酸素ボンベ、NPPVの体験と講義			予習:②第2章P184～198を読んでおく 復習:体験した学びと課題		予習1時間 復習1時間
10						
11	福祉用具・補助用具(演習:事例に基づくレポート作成)/ ロコモ度テスト(体験を通じて、フレイル予防を考える)			予習:ロコモ度テストについて調べる/事例に対して、提示したURL(社会資源の資料)より調べてレポート作成する		予習1時間 復習1時間
12						
13	皮膚排泄創傷認定看護師の実際の活動から訪問看護における 皮膚排泄創傷看護の実際を学ぶ 演習③(WOC認定看護師)			②第2章P207～220を読んでおく 復習:体験した学び(infoのアンケート)		予習1時間 復習1時間
14						

15	医療的ケア児の事例展開 * 法制度、社会資源、家族の介護力について理解する	②第4章P252～267を読んでおく	予習1時間 復習1時間
16	DVD視聴(医療的ケア児)	復習:障害者総合支援法、児童福祉法の確認	
17	在宅での人口呼吸療法の実際を学ぶ 演習④ (在宅領域特定行為研修終了看護師)	予習:②第4章P285～298を読んでおく	予習1時間 復習1時間
18		復習:体験した学び(infoのアンケート)	
19	認知症高齢者の事例展開 * 事例を通じて、多職種との連携や支援の方向性を考える	②第4章P320～332を読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
20	がん終末期の療養者の事例展開 ー在宅での看取りの支援 * 事例を通じて看取りまでの経過を追いながら、支援について理解する	②第4章P332～339を読んでおく	予習0.5時間 復習0.5時間
21	看護過程の展開 :1事例名の情報を抽出し、アセスメントをする	予習:提供した事例に関する資料を読んでおく	予習1時間 復習1時間
22		復習:事例の情報を抽出し、整理する	
23	看護過程の展開 :1事例目の看護過程を展開する	復習:情報を整理し、アセスメントを進める	予習1時間 復習1時間
24			
25	看護過程の展開 :1事例目の看護過程を提出する	予習:関連図を作成する	予習1時間 復習1時間
26			
27	看護過程の展開 :2事例目の情報を抽出し、アセスメントする	予習:提供した事例に関する資料を読んでおく	予習1時間 復習1時間
28		復習:情報を整理し、アセスメントを進める	
29	療養者宅で、拒否されないためのマナーの基礎を学ぶ 演習⑤	予習:③訪問看護接遇マナーハンドブックを読んでおく/②付章P398～P401	予習1時間 復習1時間
30			
使用テキスト	①秋山正子、他 系統別看護講座『地域・在宅看護論[1]・地域・在宅看護の基盤』2022 医学書院 ②秋山正子、他 系統別看護講座『地域・在宅看護論[2]・地域・在宅看護の実践』2022 医学書院 ③鎌田智広、他『訪問看護接遇マナーハンドブック』2019 ラグーナ出版		
参考図書	河野あゆみ『強みと弱みからみた 在宅看護過程+総合的機能関連図』2019 医学書院 正野逸子『看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術 第4版』2021 メヂカルフレンド社		
教員に対する質問方法	メールアドレス:e_wada@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
公衆衛生看護学		BNNSS4L23	30304	2後	1(30)	必修
担当教員	◎滝澤 寛子	実務歴	有	市町村保健師として2年勤務		
担当教員	石井 敦子	実務歴	有	保健師として都道府県本庁に10年勤務		
担当教員	河田 志帆	実務歴	有	市町村保健師として3年勤務・産業保健師として6年勤務		
概要	人々が生活する地域を基盤として展開する地域看護の中でも、コミュニティ全体を対象にすべての人々の健康生活の向上を追求する公衆衛生看護の基礎を学ぶ。 公衆衛生看護の理念と目的、活動の展開 について学修しながら、地域で生活する人々の 健康と生活や社会環境の関連 について理解を深め、人々の健康とQOL向上のために対象を取り巻く環境にアプローチしていく 必要性と看護職の役割 について考える力を養う。					
到達目標	1. 公衆衛生看護の理念と目的について説明できる。 2. 地域で生活する人々の健康と生活・社会環境の関連について具体例を用いて説明できる。 3. 個人の保健行動を促す教育的アプローチの展開方法について説明できる。 4. 看護師と保健師の役割、活動方法の共通点・相違点について述べるができる。					
関連科目	公衆衛生学、看護政策論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	レポート	60%	到達目標1-20% 到達目標2-10% 到達目標4-30%		コメントを記述して返却	
	課題 授業への参画	40%	到達目標2-20% 到達目標3-20%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人の人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	ガイダンス ・本科目の位置づけと授業予定 ・公衆衛生看護の理念・目的		【予習】シラバスおよびテキストに目を通し本科目の学修内容を理解する 【復習】自分の住む自治体の保健活動を調べ、公衆衛生看護の理念・目的と照らし合わせて理解を深める			予習0.5時間 復習0.5時間
2	公衆衛生看護活動の特性 ・公衆衛生看護の対象 ・公衆衛生看護活動の展開と方法		【予習】テキスト第1部第1・3・4章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。			予習0.5時間 復習0.5時間
3	個人・家族を対象にしたアプローチ ・保健指導の目的と展開過程 ・保健行動理論		【予習】テキスト第2部第1・3章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。			予習0.5時間 復習0.5時間
4	健康教育 ・健康教育の目的と方法 ・媒体の工夫		【予習】テキスト第2部第5章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。			予習0.5時間 復習0.5時間
5	保健行動を促す教育的アプローチの企画 ・個人の保健行動を促すための教育的プログラムの企画		【予習】テキスト第2部を読んで保健行動を促す工夫についてまとめる。 【復習】企画した教育的プログラムの保健行動を促す工夫についてまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間
6	保健行動を促す教育的アプローチの実践① ・健康相談・健康教育の実際		【予習】保健行動を促す工夫について振り返る。 【復習】実際の場面から地域で生活する人々の健康と生活、それを支える支援について考察しまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間
7	保健行動を促す教育的アプローチの実践② ・PDCAサイクルの展開 ・効果的な健康教育		【予習】保健行動を促す工夫について振り返る。 【復習】実際の場面から地域で生活する人々の健康と生活、それを支える支援について考察しまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間
8	保健行動を促す教育的アプローチの実践③ ・PDCAサイクルの展開 ・グループダイナミクスと健康教育		【予習】保健行動を促す工夫について振り返る。 【復習】実際の場面から地域で生活する人々の健康と生活、それを支える支援について考察しまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間
9	保健行動を促す教育的アプローチの実践④ ・PDCAサイクルの展開 ・保健行動の継続支援と健康教育		【予習】保健行動を促す工夫について振り返る。 【復習】実際の場面から地域で生活する人々の健康と生活、それを支える支援について考察しまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間
10	保健行動を促す教育的アプローチの評価 ・個人の保健行動を促すための保健指導プログラムの評価		【予習】保健行動を促す工夫について振り返る。 【復習】実際の場面から地域で生活する人々の健康と生活、それを支える支援について考察しまとめる。			予習0.5時間 復習0.5時間

11	ヘルスプロモーションの理念 ・ヘルスプロモーション理念と活動方法	【予習】テキスト第1部第3章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。	予習0.5時間 復習0.5時間
12	ヘルスプロモーションの実践 ・ヘルスプロモーションの理念を取り入れた保健活動	【予習】テキスト第1部第3章を読んでまとめる。 【復習】活動事例をヘルスプロモーションの理念と照らし合わせて理解を深める。	予習0.5時間 復習0.5時間
13	保健師の地区活動 ・個の健康課題から地域の健康課題解決に向けた展開	【予習】テキスト第1部第4章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。	予習0.5時間 復習0.5時間
14	保健医療福祉行政と保健師 ・保健医療福祉行政の体制 ・施策化	【予習】テキスト第1部第5章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。	予習0.5時間 復習0.5時間
15	地域包括ケアシステムと保健師 ・地域ケアシステムの構築 ・行政保健師の役割	【予習】テキスト第1部第8・9章を読んでまとめる。 【復習】授業内容で得た内容を追加する。	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	上野昌江ほか：公衆衛生看護学 第3版、中央法規出版、2020.		
参考図書	適宜紹介する		
教員に対する 質問方法	常勤：メールアドレス:h_takizawa@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
高齢者支援論		BNNSS3L24	30401	2前	2(60)	必修
担当教員	◎前原 なおみ	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーションに12年勤務		
	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務		
概要	加齢による心身・社会的な変化、環境要因を含めた健康状態のアセスメントを基に、 高齢者の主体性を尊重しながら、高齢者の持てる力を発揮できるようにケアを総合的に学習 する。高齢者の特徴的な心身の状態と疾患の知識、高齢者の生活を支えるシステム、理論を修得し、高齢者を「治し支える」看護へと結び付けていく思考を鍛える。					
到達目標	<p>I-1. 「老い」「加齢」とは何かを考察し、述べることができる。</p> <p>2. 健康寿命、有訴者数、受療率、症状が生活行動に与える影響について考察し、述べることができる。</p> <p>3. 加齢に伴う心身の変化と特徴について生活行動の観点から説明できる。</p> <p>4. 高齢者の環境としての社会制度について説明できる。</p> <p>5. 高齢者に関連する概念、理論を踏まえ高齢者の健康を支える看護の基本的姿勢について述べるができる。</p> <p>II-1. 加齢による心身機能の変化を理解し、生活行動に与える影響を説明できる。</p> <p>2. 高齢者の健康を支える予防的な看護を述べるができる。</p> <p>3. 高齢者が安全な環境で生活、療養するための看護の役割を考察できる。</p> <p>4. エンドオブライフケアの概念や支援について説明できる。</p> <p>5. 高齢者に起こりやすい症候のメカニズムを理解し、看護を説明できる。</p>					
関連科目	高齢者支援論演習、高齢者支援論実習					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標 I に対する評価基準等	到達目標 II に対する評価基準等	フィードバック方法	
	定期試験	80	30	50	試験レビューで説明する	
	提出物	20	10	10	返却時に説明する	
DPとの対応	智をいづくしむ力		人をいづくしむ力		命をいづくしむ力	
	科学的論理的思考力		◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	老いるということ 高齢期の特徴			予習:生涯発達論での学びをもとにテキスト①pp.2-21を読む 復習:高齢期の特徴を確認する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	超高齢社会の統計的輪郭			予習:テキスト①pp.24-36を読む 復習:高齢者に関する統計的データを確認する		予習0.5時間 復習0.5時間
3	老いとは何か(GW・発表) / 高齢者体験			予習pp.テキスト①24-36を読む 復習:発表を踏まえ「老い」とは何かについて記述する 体験レポートを作成する		予習1時間 復習1時間
4						
5	高齢者の生活行動と看護 コミュニケーション① 感覚器の変化			予習:テキスト①pp.97-101、②pp.2-9を読む 復習:コミュニケーションに関する課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
6	高齢者の生活行動と看護 コミュニケーション② 状況・状態に応じた関わり方					
7	高齢社会における保健医療福祉の動向			予習:テキスト①pp.37-54を読む 復習:高齢者に関する保健医療福祉システムを確認する		予習0.5時間 復習0.5時間
8	高齢者の生活に影響を与える環境と保健医療福祉の動向1(GW・発表)			予習:高齢者を支える仕組みをイメージする 復習:環境としての社会制度を説明する		予習0.5時間 復習0.5時間
9	高齢者の生活行動と看護 呼吸すること① 呼吸器系の変化			予習:テキスト①pp.104-107を読む 復習:呼吸に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
10	高齢者の生活行動と看護 呼吸すること② 呼吸機能障害予防の看護					
11	他国からみた日本の高齢者看護(ゲストスピーカー)			予習:講義1~10を復習し、日本の高齢者看護をイメージする 復習:課題レポートを作成する		予習0.5時間 復習0.5時間
12	高齢者に関連する概念、理論と看護(GW・発表)			予習:テキスト①pp.78-83を読む 復習:高齢者看護の基本姿勢について考察する		予習0.5時間 復習0.5時間
13	高齢者の生活行動と看護 動くこと① 筋・骨格系の変化			予習:テキスト①pp.101-105、111-119を読む 復習:運動に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
14	高齢者の生活行動と看護 動くこと② 循環器系の変化					
15	高齢者の生活行動と看護 動くこと③ 転倒・事故予防の看護			予習:テキスト①pp.122-146を読む 復習:運動に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
16	高齢者の生活行動と看護 動くこと④ 廃用症候群予防の看護					
17	高齢者の生活行動と看護 食ること① 消化器系の変化			予習:テキスト①pp.146-161を読む 復習:食事に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
18	高齢者の生活行動と看護 食ること② 誤嚥予防の看護					
19	高齢者の生活行動と看護 排泄すること① 排泄機能の変化			予習:テキスト①pp.226-249を読む 復習:排泄に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
20	高齢者の生活行動と看護 排泄すること② 排泄障害予防の看護					
21	高齢者の生活行動と看護 眠ること① 睡眠・休息の変化			予習:テキスト①pp.185-197を読む 復習:睡眠に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
22	高齢者の生活行動と看護 眠ること② 睡眠障害予防の看護					
23	高齢者の生活行動と看護 身支度① 皮膚とその付属器の変化			予習:テキスト①pp.172-185を読む 復習:身支度に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する		予習1時間 復習1時間
24	高齢者の生活行動と看護 身支度② 皮膚障害予防の看護					
25	症候のアセスメントと看護① 発熱・痛み・痒み・脱水			予習:テキスト①pp.226-238を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する		予習0.5時間 復習0.5時間
26	症候のアセスメントと看護② 嘔吐・浮腫・倦怠感・褥瘡			予習:テキスト①pp.238-246を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する		予習0.5時間 復習0.5時間
27	高齢者の生活行動と看護 死ぬこと① エンドオブライフの捉え方			予習:テキスト①pp.348-358を読む 復習:課題をinfoに解答する。		予習1時間 復習1時間
28	高齢者の生活行動と看護 死ぬこと② エンドオブライフケア					
29	高齢者への看護の特徴と課題			予習:テキスト①pp.246-254を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する		予習0.5時間 復習0.5時間
30	高齢者への看護の特徴と課題			予習:テキスト・講義資料を振り返る 復習:到達状況を自己評価する。課題レポートを作成する		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	① 北川公子:系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 ② 亀井智子:根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院					
参考図書	授業中に紹介する					
教員に対する質問方法	前原なおみ:n.maehara@kyotokango.ac.jp. 井上 深幸:m.inoue@kyotokango.ac.jp. オフィスマナー:HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
高齢者支援論演習		BNNSS4E25	30402	2後	2(60)	必修
担当教員	◎ 前原 なおみ		実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーションに12年勤務	
担当教員	井上 深幸		実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務	
概要	加齢による心身・社会的な変化、環境要因を含めた健康状態のアセスメントを基に、 高齢者の主体性を尊重しながら、高齢者の持てる力を発揮できるようなケアを総合的に 学習する。高齢者の特徴的な心身の状態と疾患の知識、高齢者の生活を支えるシステム、理論を修得し、「高齢者を「治し支える」看護へと結び付けていく思考を鍛える。					
到達目標	<p>I-1. 「老い」「加齢」とは何かを考察し、述べるができる。</p> <p>2. 健康寿命、有訴者数、受療率、症状が生活行動に与える影響について考察し、述べるができる。</p> <p>3. 加齢に伴う心身の変化と特徴について生活行動の観点から説明できる。</p> <p>4. 高齢者の環境としての社会制度について説明できる。</p> <p>5. 高齢者に関連する概念、理論を踏まえ高齢者の健康を支える看護の基本的姿勢について述べるができる。</p> <p>II-1. 加齢による心身機能の変化を理解し、生活行動に与える影響を説明できる。</p> <p>2. 高齢者の健康を支える予防的な看護を述べるができる。</p> <p>3. 高齢者が安全な環境で生活、療養するための看護の役割を考察できる。</p> <p>4. エンドオブライフケアの概念や支援について説明できる。</p> <p>5. 高齢者に起こりやすい症候のメカニズムを理解し、看護を説明できる。</p>					
関連科目	高齢者支援論、高齢者支援論実習					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標Ⅰに対する評価基準等	到達目標Ⅱに対する評価基準等	フィードバック方法	
	定期試験	80	30	50	試験レビューで説明する	
	提出物	20	10	10	返却時に説明する	
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容				取組時間
1	老いるということ 高齢期の特徴	予習:生涯発達論での学びをもとにテキスト①pp.2-21を読む 復習:高齢期の特徴を確認する				予習0.5時間 復習0.5時間
2	超高齢社会の統計的輪郭	予習:テキスト①pp.24-36を読む 復習:高齢者に関わる統計的データを確認する				予習0.5時間 復習0.5時間
3	老いとは何か(GW・発表) / 高齢者体験	予習:テキスト①pp.24-36を読む 復習:発表を踏まえ「老い」とは何かについて記述する 体験レポートを作成する				予習1時間 復習1時間
4						
5	高齢者の生活行動と看護 コミュニケーション① 感覚器の変化	予習:テキスト①pp.97-101、②pp.2-9を読む 復習:コミュニケーションに関する課題をinfoに解答する				予習1時間 復習1時間
6	高齢者の生活行動と看護 コミュニケーション② 状況・状態に応じた関わり方					
7	高齢社会における保健医療福祉の動向	予習:テキスト①pp.37-54を読む 復習:高齢者に関わる保健医療福祉システムを確認する				予習1時間 復習1時間
8	高齢者の生活に影響を与える環境と保健医療福祉の動向1(GW・発表)	予習:高齢者を支える仕組みをイメージする 復習:環境としての社会制度を説明する				
9	高齢者の生活行動と看護 呼吸すること① 呼吸器系の変化	予習:テキスト①pp.104-107を読む 復習:呼吸に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する				予習1時間 復習1時間
10	高齢者の生活行動と看護 呼吸すること② 呼吸機能障害予防の看護					
11	他国からみた日本の高齢者看護(ゲストスピーカー)	予習:講義1~10を復習し、日本の高齢者看護をイメージする 復習:課題レポートを作成する				予習0.5時間 復習0.5時間
12	高齢者に関連する概念、理論と看護(GW・発表)	予習:テキスト①pp.78-83を読む 復習:高齢者看護の基本姿勢について考察する				予習0.5時間 復習0.5時間
13	高齢者の生活行動と看護 動くこと① 筋・骨格系の変化	予習:テキスト①pp.101-105、111-119を読む 復習:運動に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する				予習1時間 復習1時間
14	高齢者の生活行動と看護 動くこと② 循環器系の変化					
15	高齢者の生活行動と看護 動くこと③ 転倒・事故予防の看護	予習:テキスト①pp.122-146を読む 復習:運動に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する				予習1時間 復習1時間
16	高齢者の生活行動と看護 動くこと④ 廃用症候群予防の看護					
17	高齢者の生活行動と看護 食ること① 消化器系の変化	予習:テキスト①pp.146-161を読む 復習:食事に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する				予習1時間 復習1時間
18	高齢者の生活行動と看護 食ること② 誤嚥予防の看護					

19	高齢者の生活行動と看護 排泄すること① 排泄機能の変化	予習:テキスト①pp.226-249を読む 復習:排泄に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する	予習1時間 復習1時間
20	高齢者の生活行動と看護 排泄すること② 排泄障害予防の看護		
21	高齢者の生活行動と看護 眠ること① 睡眠・休息の変化	予習:テキスト①pp.185-197を読む 復習:睡眠に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する	予習1時間 復習1時間
22	高齢者の生活行動と看護 眠ること② 睡眠障害予防の看護		
23	高齢者の生活行動と看護 身支度① 皮膚とその付属器の変化	予習:テキスト①pp.172-185を読む 復習:身支度に関するメカニズムを図示し、課題をinfoに解答する	予習1時間 復習1時間
24	高齢者の生活行動と看護 身支度② 皮膚障害予防の看護		
25	症候のアセスメントと看護① 発熱・痛み・痒み・脱水	予習:テキスト①pp.226-238を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する	予習0.5時間 復習0.5時間
26	症候のアセスメントと看護② 嘔吐・浮腫・倦怠感・褥瘡	予習:テキスト①pp.238-246を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する	予習0.5時間 復習0.5時間
27	高齢者の生活行動と看護 死ぬこと① エンドオブライフの捉え方	予習:テキスト①pp.348-358を読む 復習:課題をinfoに解答する。	予習1時間 復習1時間
28	高齢者の生活行動と看護 死ぬこと② エンドオブライフケア		
29	高齢者への看護の特徴と課題	予習:テキスト①pp.246-254を読む 復習:各症候のメカニズムを図示し、看護援助をinfoに解答する	予習0.5時間 復習0.5時間
30	高齢者への看護の特徴と課題	予習:テキスト・講義資料を振り返る 復習:到達状況を自己評価する。課題レポートを作成する	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	① 北川公子:系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 ② 亀井智子:根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院		
参考図書	授業中に紹介する		
質問方法	前原なおみ:n_maehara@kyotokango.ac.jp. 井上 深幸:m_inoue@kyotokango.ac.jp. オフィスアワー:HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
母性看護学		BNNSS3L26	30501	2前	2(60)	必修
担当教員	◎森田婦美子	実務歴	有	助産師として公立病院で14年勤務 2016年助産院開業 院長として地域母子保健活動をおこなう		
担当教員	林 里沙子	実務歴	有	助産師として病院/診療所に6年勤務		
概要	<p>本科目では、男女のリプロダクティブヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康・権利)についての知識を基盤として、女性のライフサイクル各期の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴を理解した上で、女性やその家族を支援するための看護を学習する。</p> <p>前半は女性のライフサイクル各期の発達課題や健康問題について学び、後半はマタニティサイクル(妊娠期・分娩期・産褥期)にある女性と家族や新生児の身体的・心理的・社会的特徴および具体的援助方法を学習する。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念や社会的動向を説明することができる。 2) 女性のライフサイクル各期に特徴的な健康課題・健康問題を説明することができる。 3) 女性のライフサイクル各期の健康課題・健康問題への看護援助とその根拠を述べるることができる。 4) 周産期にある女性の身体的・心理的・社会的特徴やその経時的変化を説明できる。 5) 周産期にある女性に必要な看護援助とその根拠を述べるることができる。 					
関連科目	母性看護学演習、母性看護学実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	中間試験	30%	1)5% 2)15% 3)10%		次回の授業で解説	
	定期試験	70%	4)40% 5)30%		試験後のレビューで解説	
DPとの対応	智をいづくしむ力		人をいづくしむ力		命をいづくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容				取組時間
1	母性看護の基盤となる概念 :母性とは、母性看護のあり方 リプロダクティブヘルス/ライツ	【予習】シラバス、教科書を読み、本科目の学修内容を確認し、質問内容をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
2	母性看護の社会変遷と現状 :母子保健統計、法律・制度	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
3	リプロダクティブヘルス :生殖に関する生理 生殖器の形態機能	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
4	リプロダクティブヘルス :生殖に関する生理 性周期・妊娠の成立	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
5	リプロダクティブヘルス :生殖に関する生理 性分化	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
6	リプロダクティブヘルス :生殖に関する生理 胎児循環の生理学的理解	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
7	女性のライフサイクル各期の看護 :思春期・成熟期	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
8	女性のライフサイクル各期の看護 :更年期・老年期	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
9	リプロダクティブヘルスケア :家族計画の意義・目的	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成、復習する。中間試験に向けて学習を行う。				予習1時間 復習1時間
10	リプロダクティブヘルスケア :性感染症	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成、復習する。中間試験に向けて学習を行う。				予習1時間 復習1時間
11	前半の総括と中間テスト	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
12	リプロダクティブヘルスケア :生命倫理 生殖医療	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
13	リプロダクティブヘルスケア :生命倫理 出生前診断・人工妊娠中絶	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
14	中間テストのレビュー マタニティサイクルの看護 妊娠期の看護 :正常妊娠の経過	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
15	妊娠期の看護 :母体の生理的変化とマイナートラブル	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間
16	妊娠期の看護 :妊婦健康診査 妊婦と家族への看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。 【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。				予習1時間 復習1時間

17	妊娠期の看護 :妊娠期の健康問題に対する看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
18	分娩期の看護 :定義、正常分娩の経過	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
19	分娩期の看護 :産婦・胎児の健康のアセスメント	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
20	分娩期の看護 :産婦と家族への看護	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
21	分娩期の看護 :分娩期の健康問題に対する看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
22	産褥期の看護 :定義、正常産褥の経過 褥婦のアセスメント	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
23	産褥期の看護 :褥婦の日常生活援助	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
24	産褥期の看護 :褥婦と家族への看護	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
25	産褥期の看護 :産褥期の健康問題に対する看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
26	帝王切開の看護 :帝王切開の適応と術式	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
27	帝王切開の看護 :腹式帝王切開術後の看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
28	早期新生児期の看護 :定義と特徴、胎外生活適応と生理的变化	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認する。授業課題が提示された場合はその課題を行う。	予習1時間 復習1時間
29	早期新生児期の成長発達に応じた看護	【予習】前回授業で指定された教科書の単元ページを読み、質問事項をまとめておく。	予習1時間 復習1時間
30	早期新生児期の看護 :早期新生児の健康問題に対する看護	【復習】講義スライドを元にノートを作成する。ノートを作成する際、質問事項が理解できたか確認し、前期試験に向けて学習を行う。	予習1時間 復習1時間
使用 テキスト	① 森恵美他. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論, 医学書院.2021 ② 森恵美他. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論, 医学書院.2022 ③ 大平光子他. 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル, 南江堂. 2022		
参考図書	医療情報科学研究所編. 病気がみえるvol.10:産科, 第4版, メディックメディア, 2018.		
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:r_hayashi@kyotokango.ac.jp 教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー		時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
母性看護学演習		BNNSS4E27		30502	2後	2(60)	必修
担当教員	◎林 里沙子	実務歴	有	助産師として病院/診療所に6年勤務			
担当教員	大庭 かおり	実務歴	有	助産師として病院に5年/看護師として病院に5年勤務			
担当教員	森田 婦美子	実務歴	有	助産師として公立病院で14年勤務 2016年助産院開業 院長として地域母子保健活動をおこなう			
概要	母性看護学の講義で学習した知識をもとに、 妊娠期、分娩期、産褥期、早期新生児期 の事例について、 ウェルネスの視点で看護過程 を展開する演習を行う。新しい家族を育む対象者や家族を身体・心理・社会的側面から全人的に理解し、支援するための健康教育や看護技術を学習する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期、分娩期、産褥期、早期新生児期にある対象者の特徴を説明できる。 2. 妊娠期、産褥期、早期新生児期にある対象者の状態をウェルネスの視点でアセスメントすることができる。 3. 産褥期、早期新生児期にある対象者の看護診断をウェルネスの視点で立案し、個別性に応じた看護計画を立案することができる。 4. 産褥期、早期新生児期にある対象者の特徴に応じた健康教育や看護技術を演習で実施し、評価することができる。 						
関連科目	母性看護学、母性看護学実習						
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-20% 到達目標2-20% 到達目標3-20%		定期試験後のレビューで説明		
	課題	20%	到達目標2-10% 到達目標3-10%		課題提出後にコメントし返却		
	グループワーク・技術演習	20%	到達目標1-5% 到達目標2-5% 到達目標3-5% 到達目標4-5%		演習中および演習終了時にコメント		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力			命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容			取組時間
1	ガイダンス ・本科目の位置づけ、講義予定 ・周産期における対象者の特徴			【予習】 ①シラバスを読み、本科目の学習内容を理解する ②母性看護学で学習した内容を復習し、各自ノート等にまとめておく 【復習】 ①本科目終了時の自己の目標を明確にする			予習1時間 復習1時間
2	母性看護学における看護過程の特徴 ・ウェルネス志向型による看護過程			【予習】 ①テキストを読み、妊娠期の正常経過、マイナートラブル、流・早産、妊婦健康診査について復習する ②提示した事例を読み、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
3	妊娠期の看護過程① ・事例紹介 ・情報収集			【予習】 ①テキストを読み、妊娠貧血、妊娠中の生活(食事・活動・清潔など)について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
4	妊娠期の看護過程② ・妊娠8週の妊婦への健康教育			【予習】 ①テキストを読み、妊娠高血圧症候群、出産入院への準備について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
5	妊娠期の看護過程③ ・妊娠24週の妊婦のアセスメント			【予習】 ①テキストを読み、妊娠高血圧症候群、出産入院への準備について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
6	妊娠期の看護過程④ ・妊娠24週の妊婦への健康教育			【予習】 ①テキストを読み、妊娠高血圧症候群、出産入院への準備について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
7	妊娠期の看護過程⑤ ・妊娠36週の妊婦のアセスメント			【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
8	妊娠期の看護過程⑥ ・妊娠36週の妊婦への健康教育			【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
9	【技術演習 妊娠期の看護①】 ・子宮底・腹囲測定 ・胎位・胎向の確認、レオポルド触診法			【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間
10	【技術演習 妊娠期の看護②】 ・ノンストレステスト ・胎児心拍数陣痛図の判読			【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる			予習1時間 復習1時間

11	分娩期の看護① ・経膈分娩時の看護	【予習】 ①テキストを読み、分娩経過、分娩期の看護、NCPR、について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
12	分娩期の看護② ・出生直後の新生児への看護	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の退行性変化、退行性変化を促すための看護について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
13	産褥期の看護過程① ・褥婦の退行性変化の情報収集 ・褥婦の退行性変化のアセスメント	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の退行性変化、退行性変化を促すための看護について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
14	産褥期の看護過程② ・褥婦の退行性変化の看護計画立案	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の退行性変化、退行性変化を促すための看護について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
15	産褥期の看護過程③ ・褥婦の進行性変化の情報収集 ・褥婦の進行性変化のアセスメント	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の進行性変化、母乳育児支援について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
16	産褥期の看護過程④ ・褥婦の進行性変化の看護計画立案	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の進行性変化、母乳育児支援について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
17	産褥期の看護過程⑤ ・褥婦の心理・社会面の情報収集 ・褥婦の心理・社会面のアセスメント	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の心理的变化、社会的変化、親になっていく過程への看護について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
18	産褥期の看護過程⑥ ・褥婦の心理・社会面の看護計画立案	【予習】 ①テキストを読み、産褥期の心理的变化、社会的変化、親になっていく過程への看護について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
19	新生児期の看護過程① ・新生児の情報収集 ・新生児のアセスメント	【予習】 ①テキストを読み、新生児の生理的特徴、全身状態のアセスメントについて復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
20	新生児期の看護過程② ・新生児の看護計画立案	【予習】 ①テキストを読み、新生児の生理的特徴、全身状態のアセスメントについて復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
21	帝王切開術時の看護① ・帝王切開術前、術中の看護	【予習】 ①テキストを読み、帝王切開術時の看護、帝王切開術で出生した児に起こりやすい症状について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
22	分娩期の看護② ・帝王切開術後の看護 ・帝王出生術で出生した新生児への看護	【予習】 ①テキストを読み、帝王切開術時の看護、帝王切開術で出生した児に起こりやすい症状について復習する ②ワークシートを確認し、疑問点を明確にする *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
23	【技術演習 産褥期の看護①】 ・子宮復古の観察 ・退行性変化を促すための健康教育	【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
24	【技術演習 産褥期の看護②】 ・授乳状況の観察 ・母乳育児、授乳への看護	【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
25	【技術演習 新生児期の看護①】 ・新生児のバイタルサイン測定 ・新生児の全身状態の観察	【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
26	【技術演習 新生児期の看護①】 ・新生児の清潔ケア	【予習】 ①ワークシートの指定箇所を記入しておく *各自ノート等に内容を整理しておくとうましい 【復習】 ①ワークシートの指定箇所を完成させる	予習1時間 復習1時間
27	【技術演習 ロールプレイ①】 ・産褥期、新生児期の看護 ロールプレイ	【予習】 ①グループ内で、ロールプレイの手順書を完成させる *事前提出、提出方法は別途説明 【復習】 ①ロールプレイの実施内容を看護経過記録に記載する ②他グループのロールプレイへのコメントを入力する *コメント入力方法は別途説明	予習1時間 復習1時間
28	【技術演習 ロールプレイ②】 ・産褥期、新生児期の看護 ロールプレイ	【予習】 ①グループ内で、ロールプレイの手順書を完成させる *事前提出、提出方法は別途説明 【復習】 ①ロールプレイの実施内容を看護経過記録に記載する ②他グループのロールプレイへのコメントを入力する *コメント入力方法は別途説明	予習1時間 復習1時間
29	産褥期、新生児期の看護過程 ・看護経過記録 ・看護計画評価	【予習】 ①看護経過記録、看護計画評価について復習する 【復習】 ①本科目での目標到達状況を評価する ②ワークシートを完成させる *提出、提出期限・方法は別途説明	予習1時間 復習1時間
30	母性看護学演習 まとめ	【予習】 ①看護経過記録、看護計画評価について復習する 【復習】 ①本科目での目標到達状況を評価する ②ワークシートを完成させる *提出、提出期限・方法は別途説明	予習1時間 復習1時間
使用テキスト	1. 大平光子他(2022). 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改定第3版. 南江堂. 2. 森恵美他(2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論 第14版. 医学書院. 3. 森恵美他(2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論 第14版. 医学書院.		
参考図書	1. 太田操(2017). ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版. 歯菌薬出版株式会社. 2. 中村幸代(2018). 根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画 3. 平澤美恵子他(2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.		
教員に対する質問方法	メールアドレス:r_hayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
小児看護学		BNNSS3L28	30601	2前	2(60)	必修
担当教員	堀井 理司	実務歴	有	看護師として病院で3年		
概要	小児保健・医療・福祉、子どもを取り巻く環境、子どもの権利の捉え方の歴史の変遷について概観し、今後の動向を展望する。また子どもとその家族を支援するために、理論に基づき子どもの成長・発達の特徴、発達課題について理解し、成長・発達の促進、健康の保持増進、疾病予防の観点について把握する。さらに、小児に特有の疾病や発達障がいについて学び、疾病や障がいをもつ子どもとその家族に対して看護職者の果たす役割についても理解を深めるなど、小児看護の基礎的知識と技術を修得する。					
到達目標	【目標】 1. 主な小児の発達理論を通して子どもの発達段階を説明できる。 2. 小児各期の成長・発達と子どもを取り巻くより良い環境を説明でき、成長・発達を促す方法を指摘できる。 3. 小児各期に特徴的な健康問題と健康が障害された子どもと家族に及ぼす影響を説明できる。 4. 健康が障害された子どもとその家族に適切な看護ができる基礎的知識と技術について説明できる。					
関連科目	小児看護学演習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	80%	到達目標 1-15% 2-15% 3-25% 4-25%		定期試験後のレビューで説明	
	課題 授業への参加	20%	到達目標 1~4-25%		授業の中でレポート課題について説明	
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		◎	適切な看護実践
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	小児看護の特徴と理念：対象、目標と役割 *「子どもとは、自分にとって子どもとは」のレポート課題		テキストの第1章を読んでおく		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
2	小児と家族の諸統計、小児看護の変遷、小児看護における倫理、小児看護の課題		テキストの第1章を読んでおく		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
3	成長・発達とは、成長・発達の進み方、影響する因子、成長の評価、発達の評価		テキストの第2章を読んでおく		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
4	新生児期・乳児期の成長・発達と生活の援助		テキストの第4章を読んでおく		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
5	幼児期前期の成長・発達と生活の援助		テキストの第4章を読んでおく、生涯発達論の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
6	幼児期後期の成長・発達と生活の援助 *ビデオ視聴後に「幼児期前期・後期の子どもの発達の違い」のレポート課題		テキストの第4章を読んでおく、生涯発達論の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
7	学童期の成長・発達と生活の援助 *学校保健を含む		テキストの第5章該当部分を読んでおく、生涯発達論の既習内容を再確認、		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
8	思春期・青年期の成長・発達と生活の援助		テキストの第6章、生涯発達論の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
9	小児の栄養：新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期		テキストの第3章を読んでおく、既習の栄養学を参照		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
10	小児の免疫と感染症		テキストの第8章の予防接種、既習の微生物学・疾病と治療Ⅲを再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
11	家族の特徴とアセスメント		テキストの第7章を読んでおく、族支援論・社会福祉の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
12	病気、障害をもつ子どもと家族の看護：子どもの健康問題と看護		テキストの小児臨床看護総論第1章、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間
13	加療環境に特徴づけられる看護：外来、入院中		テキストの小児臨床看護総論第2章、家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認		講義内容および自分で学んだ内容を整理してA4版ノートに記述	予習0.5時間 復習0.5時間

14	加療環境に特徴づけられる看護:在宅、災害時	テキストの小児臨床看護総論第2章、 家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
15	小児における疾病の経過と看護:急性期、周手術期	テキストの小児臨床看護総論第3章、 家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
16	小児における疾病の経過と看護:慢性期、終末期	テキストの小児臨床看護総論第3章、 家族支援論・社会福祉の既習内容を再確認	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
17	小児のアセスメントに必要な技術: コミュニケーション、バイタルチェック、身体測定	テキストの小児臨床看護総論第4章、 ヘルス・フィジカルテキストの該当部分を読 んでおく	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
18	小児の身体的アセスメントに必要な技術:一般状態、系統 別	テキストの小児臨床看護総論第4章、 ヘルス・フィジカルテキストの該当部分を読 んでおく	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
19	症状を示す子どもと看護:不機嫌、啼泣、痛み、呼吸困 難、チアノーゼ	テキストの小児臨床看護総論第5章を読ん でおく、 疾病と治療Ⅲを参照	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
20	症状を示す子どもと看護:ショック、意識障害、出血、貧血	テキストの小児臨床看護総論第5章、 疾病と治療Ⅲを参照	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
21	症状を示す子どもと看護:けいれん、 発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水、発疹、黄疸症	テキストの小児臨床看護総論第5章、 疾病と治療Ⅲを参照	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
22	検査、処置を受ける子どもの看護:子どもにとっての検査・ 処置体験	テキストの小児臨床看護総論第6章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
23	検査、処置を受ける子どもの看護:与薬、輸液、経管栄 養、抑制	テキストの小児臨床看護総論第6章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
24	検査、処置を受ける子どもの看護:検体採取	テキストの小児臨床看護総論第6章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
25	検査、処置を受ける子どもの看護:褥法、清潔、排泄	テキストの小児臨床看護総論第6章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
26	検査、処置を受ける子どもの看護:呼吸・循環の確保、環 境調整、救急救命	テキストの小児臨床看護総論第6章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
27	子どもの障がいの理解と支援:障害のとらえ方	テキストの小児臨床看護総論第7章を読ん でおく、 疾病と治療Ⅲを参照	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
28	障がいのある子どもと家族の看護:家族の特徴と社会的支 援	テキストの小児臨床看護総論第7章を読ん でおく、	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
29	子どもの虐待予防と看護	テキストの小児臨床看護総論第8章を読ん でおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
30	子どもの福祉と諸制度	テキストの第8章を読んでおく、 家族支援論・臨床心理学を復習	講義内容および自分で学んだ 内容を整理してA4版ノートに記 述	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	奈良間美保他(2020):系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論、医学書院			
参考図書	中野綾美他編(2021):ナーシング・グラフィカ 小児看護学;小児の発達と看護、メディカ出版 服部祥子(2020):生涯人間発達論第3版、医学書院 衛藤隆編:学校保健マニュアル第10版、南山堂、2022			
教員に対する 質問方法	メール:s_horii@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認			

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
小児看護学演習		BNNSS4E29	30602	2後	2(60)	必修
担当教員	清水 史恵	実務歴	有	看護師として病院に3年、小中学校に5年、特別支援学校に6年勤務		
	堀井 理司	実務歴	有	看護師として病院で3年勤務		
	山本 典孝	実務歴	有	看護師として病院に16年、診療所に1年勤務		
概要	小児看護学で学んだ内容をもとに、小児期各期に起こりやすい疾病を取り上げ、様々な健康障害をもつ子どもと家族を看護するうえで必要なアセスメントや看護援助について学ぶ。子どもとのコミュニケーション方法、遊びの援助、プレパレーションなど個性を踏まえた支援方法を、技術演習やグループワークなどを通して学ぶ。また、事例を通して、看護過程の展開方法を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体・精神運動・社会的側面より総合的に子どもの健康状態をアセスメントできる。 2. アセスメントをもとに、子どもや家族の状況に即した看護計画を立案できる。 3. 子どもの健康状態に応じた必要な日常生活上の援助技術について説明し、実践できる。 4. 子どもの病気の診療過程に伴う援助技術について説明し、実践できる。 5. 小児看護技術の修得状況を自己評価し、今後の課題を挙げるができる。 					
関連科目	小児看護学					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	70%	到達目標1. -15% 到達目標2. -15% 到達目標3. -20% 到達目標4. -20%		定期試験後のレビューで説明	
	課題 授業への参加	30%	到達目標1. -5% 到達目標2. -5% 到達目標3. -5% 到達目標4. -5% 到達目標5. -5% 到達目標3. 4. -5%			
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間	
1	免疫疾患と看護:アレルギーのある子どもの看護		疾病と治療Ⅲ、テキスト②「免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患と看護」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
2	免疫疾患と看護:喘息をもつ子どもの看護				要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
3	代謝性疾患と看護:1型糖尿病をもつ子どもの看護		予習:疾病と治療Ⅲ、教科書②「代謝性疾患と看護」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
4	神経疾患と看護:脳性麻痺の子どもの看護		予習:疾病と治療Ⅲ、教科書②「神経疾患と看護」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
5	循環器疾患と看護:先天性心疾患をもつ子どもの看護		予習:疾病と治療Ⅲ、教科書②「循環器疾患と看護」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
6	循環器疾患と看護:川崎病の子どもの看護				要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
7	悪性新生物と看護:白血病の子どもの看護		予習:疾病と治療Ⅲ、教科書②「悪性新生物と看護」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
8	悪性新生物と看護:白血病の子どもの看護				要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
9	IgA腎症の子どもの看護		疾病と治療Ⅲ、教科書②「糸球体疾患」を熟読する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
10	事例による看護展開:事例紹介(IgA腎症の子どもの看護や白血病の子どもの事例)		「白血病の子どもの看護」で学修した内容を再確認する		要点について各自で整理してA4版ノートに記述する 予習0.5時間 復習0.5時間	
11	看護過程①:情報収集・アセスメント		情報収集・アセスメント用紙への記述(個人・グループ)		予習0.5時間 復習0.5時間	
12	看護過程①:情報収集・アセスメント		情報収集・アセスメント用紙への記述(個人・グループ)		予習0.5時間 復習0.5時間	
13	看護過程②:関連図の作成・看護問題の抽出・計画の立案		関連図・看護問題・計画用紙への記述(個人)		予習0.5時間 復習0.5時間	
14	看護過程②:関連図の作成・看護問題の抽出・計画の立案		関連図・看護問題・計画用紙への記述(個人・グループ)		予習0.5時間 復習0.5時間	
15	技術演習:バイタルサイン測定・薬液吸入・内服援助		小児看護学の該当部分のテキストと配布資料を熟読する 技術項目ごとに自己で手技をA4版ノートにまとめる(事前学修課題)		復習:技術演習をふり返り、学んだことをA4版ノートにまとめる 予習0.5時間 復習0.5時間	

16	看護過程②;関連図の作成・看護問題の抽出・計画の立案	関連図・看護問題・計画用紙への記述(グループ)		予習0.5時間 復習0.5時間
17	看護過程③;発表	発表に向けての事前準備と評価		予習0.5時間 復習0.5時間
18	看護過程③;発表	発表に向けての事前準備と評価		予習0.5時間 復習0.5時間
19	技術演習:シーネ固定・輸液管理・検査(採尿)	小児看護学の該当部分の テキストと配布資料を熟読する 技術項目ごとに自己で手技を A4版ノートにまとめる(事前学修課題)	技術演習をふり返り、 学んだことをA4版ノートにまとめる	予習0.5時間 復習0.5時間
20	技術演習:シーネ固定・輸液管理・検査(採尿)			予習0.5時間 復習0.5時間
21	技術演習:衣服の着脱・身体計測・サークルベッドの取り扱い・電法			予習0.5時間 復習0.5時間
22	技術演習:衣服の着脱・身体計測・サークルベッドの取り扱い・電法			予習0.5時間 復習0.5時間
23	事例におけるプレパレーション;方法の検討	教科書①「プレパレーション」を読む、小児看護学で視聴した実演例を確認する		予習0.5時間 復習0.5時間
24	事例におけるプレパレーション;素材の作成			予習0.5時間 復習0.5時間
25	事例におけるプレパレーション;素材の作成	発表に向けての作成・準備		予習0.5時間 復習0.5時間
26	事例におけるプレパレーション;素材の作成			予習0.5時間 復習0.5時間
27	事例におけるプレパレーション;ロールプレイ演習	発表に向けての事前準備と評価		予習0.5時間 復習0.5時間
28	事例におけるプレパレーション;ロールプレイ演習			予習0.5時間 復習0.5時間
29	小児の在宅看護について (ゲストスピーカー)	教科書①「在宅療養中の子どもと家族の看護」を再読する		予習0.5時間 復習0.5時間
30	まとめ			予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	奈良間美保他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児看護学①. 医学書院 奈良間美保他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学②. 医学書院			
参考図書	山元恵子, 佐々木祥子. 2020. 新訂版 写真でわかる小児看護技術 アドバンス, インターメディカ 浅野みどり. 2020. 根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第3版, 医学書院			
教員に対する 質問方法	メール:清水史恵:f_shimizu@kyotokango.ac.jp、堀井 理司:s_horii@kyotokango.ac.jp、山本典孝:n_yamamotoi@kyotokango.ac.jp オフィシアワー:在校生HPを確認			

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
周術期看護論		BNNSS3L30	30701	2前	1(30)	必修
担当教員	田村葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
概要	<p>手術を受ける患者の健康上の課題を全人的に捉え、患者およびその家族をアセスメントする視点について学修する。 また、全身麻酔、手術による生体侵襲、術後合併症の発症機序とその予防のための看護について学修する。 さらに、手術を受ける患者の理解を深めるために必要な理論について学ぶ。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周術期(術前・術中・術後)にある患者・家族をアセスメントすることができる。 2. 周術期(術前・術中・術後)に必要な看護について述べるができる。 3. 全身麻酔や手術による生体侵襲について説明することができる。 4. 術後合併症予防のための看護について述べるができる。 5. 周術期患者をアセスメントするために必要な理論について説明することができる。 6. 事例を通して手術を受ける患者・家族の看護について述べるができる。 					
関連科目	健康回復生活支援概論、クリティカルケア論、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、急性期・周術期看護論演習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	70	到達目標1:10%		定期試験後のレビューで説明	
			到達目標2:15%			
			到達目標3:10%			
			到達目標4:10%			
			到達目標5:5%			
授業への参加	30	到達目標1-6:14%(事前学修)		授業時間内に説明		
		到達目標1-6:16%(事後学修)		次回授業時に説明		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容	予習内容 (使用テキスト番号①～⑪)		復習内容	取組時間	
1	ガイダンス、周術期看護の専門性 周術期看護に必要な理論	シラバスを読む ③P58-61を読み学修内容を理解する			予習0.5時間 復習0.5時間	
2	手術前の看護(術前検査と看護)	①P228-259、③P83-100、 ⑨P33-37を読み学修内容を理解する。 配布資料		手術オリエンテーションの意義と目的、 術前訓練についてまとめておく	予習0.5時間 復習0.5時間	
3	手術中の看護	③P101-128を読み学修内容を理解する。配布資料		全身麻酔薬の作用、副作用。硬膜外麻酔の作用、 副作用についてまとめておく	予習0.5時間 復習0.5時間	
4	手術後の看護1 (生体侵襲と看護)	③P32-35、⑨P7-12を読み学修内容を理解する 配布資料		手術侵襲に対する生体反応(Mooreの理論)	予習0.5時間 復習0.5時間	
5	手術後の看護2 (術後経過と術後合併症、早期離床の意義)	①P330-342、③P129-145、⑨P15-20を読み 学修内容を理解する。 配布資料		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
6	術後合併症予防のための看護1 (呼吸器系・循環器系)	③P152-176.202-208、⑨P15-20を読み学修内 容を理解する。 配布資料(胸腔ドレーン、深部静脈血栓症)		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
7	術後合併症予防のための看護2 (消化器系、縫合不全、感染)	③P177-201,220-227、⑨P15-20を読み学修内 容を理解する。 配布資料(イレウス、創傷治癒過程・遅延のリスク)		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
8	術後合併症予防のための看護3 (術後せん妄、術後合併症まとめ)	⑨P15-20を読み学修内容を理解する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
9	手術を受ける患者・家族の看護1 (呼吸器系:肺がん)	③P286-295、⑦P280-299を読み学修内容を理 解する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
10	手術を受ける患者・家族の看護2 (循環器系:急性心筋梗塞)	⑩P279-299.370-380、 ⑨P107-146を読み学修内容を理解する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
11	手術を受ける患者・家族の看護3 (消化器系:胃がん)	②P185-201 ③P296-308 ⑧352-361を読み学修内容を理解する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
12	手術を受ける患者・家族の看護4 (運動器系:変形性股関節症)	③P327-335、⑥P141-143を読み学修内容を理 解する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
13	手術を受ける患者・家族の看護5 (脳・神経系:クモ膜下出血)	①P324-332 ⑨279-320を読み学修内容を理解 する		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	
14	手術を受ける患者・家族の看護6 (腎・泌尿器系:前立腺がん) (婦人科系:子宮がん)	④P182-184、269-289を読み学修内容を理解す る		配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間	

15	手術後の継続看護 急性期、周術期看護の役割とその意義	③P230-261を読み学修内容を理解する	配布資料	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	①矢永勝彦他(2017)『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論』医学書院. ②北島政樹他(2017)『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論』医学書院. ③雄西智恵美他(2014)『周術期看護論』ヌーベルヒロカワ. ④今井亜矢子他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学8 腎・泌尿器』医学書院. ⑤末岡浩他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器』医学書院. ⑥田中栄他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学10 運動器』医学書院. ⑦浅野浩一郎他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学2 呼吸器』医学書院. ⑧南川雅子他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学5 消化器』医学書院. ⑨大滝周他(2018)『周術期看護 学習ワークブック』メヂカルフレンド社. ⑩吉田俊子他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学3 循環器』医学書院. ⑪井出隆文他(2019)『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学7 脳・神経』医学書院.			
参考図書				
教員に対する 質問方法	メールアドレス:y_tamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:研究室7			

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
クリティカルケア論		BNNSS4L31	30702	2前	1(30)	必修
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	田村 葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
概要	クリティカルな状態にある患者および家族を全人的に理解し、看護を提供するためのエビデンスについて学習する。また、クリティカルな患者の主要病態に応じた看護についてグループワークを通して学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリティカルケアの場における看護の専門性とチーム医療について説明できる。 2. クリティカルケアの対象とその特徴について説明できる。 3. クリティカルな状態にある家族の特徴について説明できる。 4. クリティカルケア看護におけるエンドオブライフケアについて説明できる。 5. 心肺蘇生に必要な知識・技術を習得できる。 6. クリティカルな患者の主要病態に応じた看護について説明できる。 7. プレホスピタルケアにおけるフライトナースの活動内容と役割について理解できる。 					
関連科目	健康回復生活支援概論、急性期・周術期看護論、急性期・周術期看護論演習、形態機能学Ⅰ・Ⅱ、疾病と治療Ⅰ・Ⅱ、薬理学					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	100	到達目標1, 2, 3, 4:各5		第5～第9回は、授業毎にグループコメントを行う定期試験後のレビューで説明する	
			到達目標5:30			
			到達目標6:40			
到達目標7:10						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	月日	担当	学修内容	予習内容(授業後提出)・復習内容	取組時間	
1	4/12	田口	クリティカルケア看護の専門性とチーム医療	【予習】クリティカルケアについて調べる 【復習】チーム医療について授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
2	4/19	田口	クリティカルな状態にある患者の特徴と看護	【予習】クリティカルな患者の症状について調べる 【復習】教科書を読み、授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
3	4/26	田村	クリティカルな状態にある家族の特徴と看護	【予習】クリティカルな状態にある患者の家族について調べる 【復習】教科書を読み、授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
4	5/10	田村	クリティカルケア看護におけるエンドオブライフケア	【予習】エンドオブライフケアについて調べる 【復習】教科書を読み、授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
5	5/17	田口・田村	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 GW①: クリティカルな状態にある患者の症状について調べる	【予習】グループ課題を調べる 【復習】グループワークのまとめ、資料を作成する	予習0.5時間 復習0.5時間	
6	5/24	田口・田村	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 GW②: クリティカルな状態にある患者への看護とその根拠についてGWする		予習0.5時間 復習0.5時間	
7	5/31	田口・田村	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 GW③: まとめの検討および発表資料を作成する		予習0.5時間 復習0.5時間	
8	6/7	田口・田村	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 発表会①	【予習】発表資料完成とプレゼンテーションの練習をする 【復習】発表資料を読み復習、追学習する	予習0.5時間 復習0.5時間	
9	6/14	田口・田村	クリティカルな患者の主要病態に応じた看護 発表会②		予習0.5時間 復習0.5時間	
10	6/21	田口	クリティカルケアの場にかす補完代替療法(Mテック)	【予習】マッサージの種類と効果について調べる 【復習】クリティカルケアの場での活用についてまとめ、第11講に提出する	予習0.5時間 復習0.5時間	
11	6/28	田口	一次救命処置(BLS)とその根拠	【予習】BLS、死戦期呼吸の動画を2回以上視聴する 【復習】教科書を読み、授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
12	7/5	田口	二次救命処置(ALS)とその根拠	【予習】ALSの動画を2回以上視聴する 【復習】教科書、授業資料を読み追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
13	7/26	藤巻・田口	プレホスピタルケアの重要性:フライトナースの活動と役割	【予習】プレホスピタルケア、フライトナースについて調べる 【復習】教科書を読み、授業資料に追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
14	8/2	田口	クリティカルな状態にある患者・家族の事例検討(グループワーク)	【予習】事例について調べる 【復習】グループで振り返りし、時間内に提出する	予習0.5時間 復習0.5時間	
15	8/9	田口	事例のまとめ	【予習】グループで発表準備をする 【復習】グループ発表の学びを個人でまとめ、時間内に提出する	予習0.5時間 復習0.5時間	
使用テキスト	①道又元裕他(2020)『系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学』医学書院。 ②山勢博彰他(2018)『系統看護学講座 別巻 救急看護学』医学書院。					
参考図書	講義内で紹介する。					
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp 田村葉子 y_tamura@kyotokango.ac.jp オフィシアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
急性期・周術期看護論演習		BNNSS4E32	30703	2後	1(30)	必修
担当教員	◎田村 葉子	実務歴	有	看護師として病院に10年勤務		
担当教員	田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
概要	クリティカルケア論、周術期看護論の講義をもとに、 急性期・周術期にある患者のアセスメント技術、看護技術 について学ぶ。また、周術期患者の事例を通して、 看護過程の展開 方法について学ぶ。					
到達目標	1. 急性期・周術期患者のモニタリングとアセスメント方法を挙げることができる。 2. 急性期・周術期患者に必要な看護技術を実践できる。 3. 看護過程の構成要素を理解し、模擬患者の看護過程を展開することができる。					
関連科目	健康回復生活支援概論、クリティカルケア論、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 疾病と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、周術期看護論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	70	到達目標1:20%		定期試験後のレビューで説明	
			到達目標2:20%			
			到達目標3:30%			
授業への参加	30	到達目標1-2:20%(事前学修) 到達目標3:10%(事後学修)		授業時間内に説明 次回授業時に説明		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		○	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		◎	適切な看護実践
回	学修内容		予習内容	復習内容	取組時間	
1	周術期のモニタリングとアセスメント技術① (クリニカルパス)		シラバスを読んでくる	配布資料に不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
2 3 4	周術期のモニタリングとアセスメント技術② (術後の観察項目)		術直後の観察項目をあげてくる(授業後提出)	配布資料に不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
	周術期に必要な看護技術① (術前オリエンテーション)		術前オリエンテーション内容とその意義について調べてくる(授業後提出)	授業をきいて不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
	周術期に必要な看護技術② (術後ベッド)		術後ベッドに必要な物品とその根拠について調べてくる(授業後提出)	授業をきいて不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
5 6 7	周術期に必要な看護技術③ (早期離床)		早期離床の意義と効果について調べてくる(授業後提出)	授業をきいて不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
	周術期に必要な看護技術④ (創傷処置・ドレーン管理)		ドレーンの種類、方法など、ドレーン管理について調べてくる(授業後提出)	授業をきいて不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間	
	看護過程の展開①(概念・情報の整理)		事例を読んでくる	情報の整理の追加をおこなう	予習0.5時間 復習0.5時間	
8 9 10	周術期に必要な看護技術演習 (術後ベッド、早期離床)		事前に配布した資料を作成してくる	演習を実施して不足していたところを追記する	予習0.5時間 復習0.5時間 予習0.5時間 復習0.5時間	
11 12 13	看護過程の展開② (解釈・分析・診断仮説・照合・確定診断) グループワーク (関連図・問題リスト)		事例を読んでくる	解釈・分析の追加・修正をおこなう	予習0.5時間 復習0.5時間	
				診断仮説、照合、確定診断の追記をおこなう	予習0.5時間 復習0.5時間	
				関連図を書いてくる(次回の授業時提出)	予習0.5時間 復習0.5時間	
14 15	看護過程の展開③ (看護計画・SOAP・看護計画の修正・追加)		事例を読んでくる	看護計画の追加、修正をおこなう	予習0.5時間 復習0.5時間	
				看護計画の追加、修正をおこなう 急性期・周術期看護論演習を通して学んだ事を提出	予習0.5時間 復習0.5時間	
使用テキスト	1)「NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023」医学書院 2)その他、周術期看護論に準ずる。					
参考図書						
教員に対する質問方法	メールアドレス:y_tamura@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:研究室7					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動回復看護論		BNNSS2L33	30801	2前	1(30)	必修
担当教員	◎ 中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	岡本 杏華	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務		
概要	リハビリテーションの歴史の変遷およびリハビリテーション看護を必要とする人やその家族を取り巻く環境について学ぶ。そして、疾病や事故等により、 生活機能に障害をきたした人とその家族 の特徴を理解し、主に 回復期 における食事・排泄・整容・歩行・コミュニケーションなどの 生活行動の再獲得・生活の再構築 に向けての知識と援助方法を修得する。					
到達目標	1. 障害とともに生きる人やその家族を取り巻く環境について説明できる。 2. 生活機能に障害をきたした人とその家族の特徴について説明できる。 3. 生活行動のメカニズムについて説明できる。 4. 生活機能が障害されることによる日常生活に及ぼす影響について説明できる。 5. 生活機能に障害をきたした人の回復期における生活行動の再獲得・生活の再構築に向けた援助について説明できる。					
関連科目	健康回復生活支援概論、生活行動回復看護論演習、生活行動回復看護論実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	90	到達目標1. 10% 到達目標2. 20% 到達目標3. 15% 到達目標4. 25% 到達目標5. 20%	定期試験後のレビューで説明		
	グループワーク	10	到達目標3. 2% 到達目標4. 4% 到達目標5. 4%	講義中の講評で説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション リハビリテーション看護とは			【予習】 1. 教科書1～13pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	リハビリテーション看護を必要とする人①: 対象および家族の特徴			【予習】 1. 教科書50～61pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
3	リハビリテーション看護を必要とする人②: 生活および生活行動の特徴			【予習】 1. 日常生活行動についてまとめ、持参する 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
4	障害のある人を取り巻く環境: QOL向上を目指した施策			【予習】 1. 教科書15～21pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
5	リハビリテーション看護の独自性①: 基本理論			【予習】 1. 教科書68～84pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
6	リハビリテーション看護の基本的な方法: アセスメント評価ツール			【予習】 1. 教科書99～113, 368～380pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
7	リハビリテーション医療とチームアプローチ①: 多職種連携			【予習】 1. 教科書37～48pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間

8	生活行動の再獲得が必要な人の看護①: 運動機能が障害された人への看護1	【予習】 1. 脳と脳神経の構造と機能についてまとめ、持参する 2. 教科書182～204pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
9	リハビリテーション医療とチームアプローチ①: 生活行動の再獲得のための訓練	【予習】 1. 教科書116～127pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
10	リハビリテーション看護の独自性②: 当事者のとらえ方の援助	【予習】 1. 教科書22～29pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
11	生活行動の再獲得が必要な人の看護②: 運動機能が障害された人への看護2	【予習】 1. 脊柱、脊髄、脊髄神経の構造と機能についてまとめ、持参する 2. 教科書226～243pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
12	生活行動の再獲得が必要な人への看護③: 高次脳機能が障害された人への看護	【予習】 1. 高次脳障害の種類とその内容についてまとめ、持参する 2. 教科書205～225pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
13	生活行動の再獲得が必要な人への看護④: 排泄機能が障害された人への看護	【予習】 1. 正常な排尿、排便のメカニズムについて解剖生理を含めてまとめ、持参する 2. 教科書276～291pを読んでおく 【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する	予習0.5時間 復習0.5時間
14	グループワーク 生活行動の再獲得・生活の再構築に向けての援助方法	【予習】 1. 第1講から第13講までの復習をしておく 【復習】 1. グループワーク内容を資料、PPTにまとめ、発表の準備をする	予習0.5時間 復習0.5時間
15	グループワーク発表 まとめ	【予習】 1. 他のグループの資料に目を通しておく 【復習】 1. 発表内容について、これまで学修してきた内容とともに振り返りをする	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	1. 酒井郁子他編(2021):リハビリテーション看護 障害のある人の可能性とともに歩む 改訂第3版,南江堂. 2. 井出隆文他(2019):系統看護学講座-専門分野 成人看護学 7 脳・神経 第15版,医学書院. 3. 田中栄他(2019):系統看護学講座-専門分野 成人看護学 10 運動器 第15版,医学書院. 4. ロイノートSchool		
参考図書	1. 任和子(2021):根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術,第3版,医学書院. 2. 亀井智子(2020):根拠と事故防止からみた老年看護技術,第3版,医学書院 その他、必要に応じ紹介する		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:m_nakamori@kyotokango.ac.jp(中森)、k_okamoto@kyotokango.ac.jp(岡本) オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動回復看護論演習		BNNSS4E35	30803	2後	1(30)	必修
担当教員	◎ 中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	岡本 杏華	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務		
概要	回復期にある生活機能に障害をきたした人とその家族について、事例を用いて、情報収集から看護計画の立案までの過程を学修する。また、回復期にある生活機能に障害をきたした人とその家族に対する生活行動の再獲得・生活の再構築に向けての具体的援助方法について学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回復期にある事例を理解するために必要な基礎知識について説明できる。 2. 回復期の特徴、事例の状況をふまえて、アセスメントに必要な情報やその情報収集方法が説明できる。 3. 回復期の特徴をふまえて、情報を整理できる。 4. 回復期の特徴や関連する基礎知識をふまえて、事例の状況を解釈・分析できる。 5. 回復期の特徴をふまえて、事例に必要な看護診断、看護計画を立案できる。 6. 回復期にある生活機能に障害をきたした人とその家族に対する生活行動の再獲得・生活の再構築にむけての具体的援助方法が説明できる。 					
関連科目	健康回復生活支援概論、生活行動回復看護論、生活行動回復看護論実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70	到達目標1. 10% 到達目標2. 10% 到達目標3. 10% 到達目標4. 15% 到達目標5. 10% 到達目標6. 15%	定期試験後のレビューで説明		
	レポート	30	到達目標3. 4% 到達目標4. 10% 到達目標5. 8% 到達目標6. 8%	講義中の講評で説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション			※予習、復習は、その成果が提示・活用できるように取り組む【予習】 1. 生活行動回復看護論で学修した内容を復習しておく【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	事例の理解に必要な基礎知識			【予習】 1. 事例の理解に必要であると考えた基礎知識についてまとめ、持参する【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
3	回復期にある対象の身体的なアセスメントと援助①: 身体的側面			【予習】 1. 回復期にある対象の身体的特徴についてまとめ、持参する【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
4	回復期にある対象のアセスメントと援助②: 心理・社会的側面			【予習】 1. 回復期にある対象の心理・社会的特徴についてまとめ、持参する【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
5	回復期にある対象のアセスメントと援助③: 家族・環境・生活の再構築			【予習】 1. 生活行動看護論で学修した内容および第4講までを復習しておく。【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間
6	回復期にある対象に対するアセスメントとその視点			【予習】 1. 回復期にある患者に必要なアセスメントの視点を整理し、持参する【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する		予習0.5時間 復習0.5時間

7	回復期にある対象に対する看護過程の展開①情報収集と情報整理	<p>【予習】 1. 前時に提示する</p> <p>【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する</p>	予習0.5時間 復習0.5時間
8	回復期にある対象に対する看護過程の展開②情報の解釈・分析		予習0.5時間 復習0.5時間
9	回復期にある対象に対する看護過程の展開③関連図		予習0.5時間 復習0.5時間
10	回復期にある対象に対する看護過程の展開④看護診断と目標設定		予習0.5時間 復習0.5時間
11	回復期にある対象に対する看護過程の展開⑤看護計画		予習0.5時間 復習0.5時間
12	生活行動の再獲得・生活の再構築に向けた支援①:技術演習	<p>【予習】 1. 前時に提示する</p> <p>【復習】 1. 本時の到達目標に対する評価と自己課題に沿って振り返り、教科書を読み返す。また、関連知識とともに整理する</p>	予習0.5時間 復習0.5時間
13	生活行動の再獲得・生活の再構築に向けた支援①:技術演習		予習0.5時間 復習0.5時間
14	生活行動の再獲得・生活の再構築に向けた支援①:技術演習		予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ	<p>【予習】 1. 第1～14講までの復習をしておく</p> <p>【復習】 1. 本講義の到達目標の評価と自己課題に沿って振り返りを行う</p>	予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	<p>1. 酒井郁子他編(2021):リハビリテーション看護 障害のある人の可能性とともに歩む 改訂第3版,南江堂. 2. 井出隆文他(2019):系統看護学講座-専門分野 成人看護学 7 脳・神経 第15版,医学書院. 3. Tヘザー・ハードマン他編(2021):NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023</p>		
参考図書	<p>1.任和子(2021):根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術,第3版,医学書院. 2.亀井智子(2020):根拠と事故防止からみた老年看護技術,第3版,医学書院 その他、必要に応じ紹介する</p>		
教員に対する質問方法	<p>メールアドレス:m_nakamori@kyotokango.ac.jp(中森)、k_okamoto@kyotokango.ac.jp(岡本) オフィスアワー 在校生HPを確認</p>		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
セルフケア支援論		BNNSS3L36	30901	2前	1(30)	必修
担当教員	◎ 宇多 雅	実務歴	有	看護師として病院に17年勤務		
担当教員	吉田 えり	実務歴				
概要	慢性の病をもって生きる人とその家族 の特徴や健康問題について病態理解を深めながら、理論や概念を用いて学修する。併せて、健康問題の科学的根拠に基づいた援助の必要性や セルフケアを支援 する必要性について事例等を用いながら学修していく。さらに、 慢性の病とともにある生活 をふまえて、 慢性の病をもって生きる人の療養行動の維持、生活の再構築や適応を促進 していくための 教育、援助、社会資源の有効活用 等の方法についても学修する。 (オムニバス方式/全15回)					
到達目標	1. 慢性の病をもって生きる人とその家族の特徴とセルフケアを支援する必要性について説明できる 2. 慢性の病の疾病の構造と特徴について説明できる 3. 慢性の病をもって生きる人を全人的に捉えるための看護アセスメントの視点について説明できる 4. 慢性の病をもって生きる人とその家族に対する療養行動の維持、生活の再構築や適応を促進していくための健康生活支援方法について説明できる					
関連科目	セルフケア支援論演習、セルフケア支援論実習、緩和ケア論、緩和ケア論実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	到達目標1:10% 到達目標2:25% 到達目標3:20% 到達目標4:25%	定期試験後のレビューで説明		
	小テスト	20%	到達目標1:5% 到達目標2:10% 到達目標3:5% 到達目標4:5%	次回授業時に解説		
DPとの対応	智をいづくしむ力		人をいづくしむ力		命をいづくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	慢性の病をもって生きる人とその家族の健康問題と特徴① 慢性期の身体的側面の特徴			※第1回から15回までの予習・復習には、教科書を活用する。 内容についてはルーズリーフ等に記述し順番に1冊の学修ファイル(フラットファイル・A4)にすべて綴じる(詳細は、講義時に提示する) ・教科書2(p2-p18)と教科書10(p2-p12)をよみ、慢性、慢性性、慢性期の概念と慢性状態を引き起こす代表的な疾患とその特徴についてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
2	慢性の病をもって生きる人とその家族の健康問題と特徴② 慢性期の精神・社会的側面の特徴			・教科書2(p2-p40)と教科書10(p2-p12)教科書をよみ、慢性期における心理・社会的特徴についてまとめて記述する ・慢性期看護で用いられる理論(病みの軌跡モデル等)についてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
3	呼吸器系に健康問題をもつ人への看護① 慢性呼吸不全患者の病態の特徴、看護のアセスメントの視点			・呼吸器系の解剖生理についてまとめて記述する ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態生理、症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点についてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
4	呼吸器系に健康問題をもつ人への看護② 慢性呼吸不全患者の患者と家族への健康生活支援			・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の患者の看護と症状マネジメントについてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
5	循環器系に健康問題をもつ人への看護① 慢性心不全患者の病態の特徴、看護のアセスメントの視点			・循環器系の解剖生理についてまとめて記述する ・慢性心不全の病態生理、症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点についてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
6	循環器系に健康問題をもつ人への看護② 慢性心不全患者の患者と家族への健康生活支援			・慢性心不全患者の看護と症状マネジメントについてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
7	消化器系に健康問題をもつ人への看護① 肝臓疾患(肝炎・肝硬変等)患者の病態の特徴、看護のアセスメントの視点			・消化器(肝・胆・膵)系の解剖生理についてまとめて記述する ・肝炎および肝硬変の病態生理、症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点、看護、症状マネジメントについてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
8	消化器系に健康問題をもつ人への看護②: 肝臓疾患(肝炎・肝硬変等)患者の患者と家族への健康生活支援			・肝がんの病態生理、症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点、看護、症状マネジメントについてまとめて記述する		予習0.5時間 復習0.5時間
9	第1～8講の中間のまとめ / 小テスト 内分泌機能障害の病態の特徴、看護のアセスメントの視点 患者と家族への健康生活支援			・教科書・講義資料、学修ファイルを活用し、第1講から第7講までの学修内容の復習をする ・内分泌器官とホルモンの機能についてまとめて記述する ・下垂体前葉・後葉、甲状腺、副甲状腺、副腎系の各疾患および病態生理、症状、治療、アセスメントの視点、看護についてまとめて記述する ・中間テストの復習をする		予習0.5時間 復習0.5時間

10	第1～8講の中間のまとめ / 小テストの解説 内部環境調節系に健康問題をもつ人への看護① 代謝機能障害(糖尿病等)の病態の特徴、看護のアセスメントの視点 患者と家族への健康生活支援	・臓臓の解剖生理と血糖の調整に関わるホルモンについてまとめ記述する ・糖尿病の病態生理、症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点、 看護についてまとめ記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
11	内部環境調節系に健康問題をもつ人への看護② 慢性腎臓病患者の病態の特徴、看護のアセスメントの視点	・泌尿器系の解剖生理についてまとめ記述する ・慢性腎臓病の病態生理、症状、診断、検査、治療、 アセスメントの支援、看護についてまとめ記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
12	内部環境調節系に健康問題をもつ人への看護③ 血液透析の導入期・維持期・慢性期の患者と家族への健康生活支援	・慢性腎不全患者の看護と症状マネジメントについてまとめて記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
13	身体防御機能系に健康問題を持つ人への看護① 造血機能障害(白血病等)の病態の特徴、看護のアセスメントの視点 患者と家族への健康生活支援	・造血機能に関する解剖生理についてまとめ記述する ・造血機能障害(白血病)の病態生理、症状、診断、検査、治療、 アセスメントの視点、看護についてまとめ記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
14	身体防御機能系に健康問題を持つ人への看護② 薬物療法および放射線療法と看護	・薬物療法および放射線療法の基礎知識、治療の概要、 有害事象、看護についてまとめ記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
15	身体防御系に健康問題を持つ人への看護② 身体防御機能障害(アレルギー・膠原病等)の病態の特徴 看護のアセスメントの視点、患者と家族への健康生活支援 /全講のまとめ	・免疫とアレルギーのしくみについてまとめ記述する ・関節リウマチ(RA)と全身性エリテマトーデス(SLE)の病態生理、 症状、診断、検査、治療、アセスメントの視点、看護について まとめ記述する	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	1. 川村雅文他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 2—呼吸器—』, 医学書院. 2. 吉田俊子他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 3—循環器—』, 医学書院. 3. 飯野京子他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 4—血液・造血管—』, 医学書院. 4. 南川雅子他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 5—消化器—』, 医学書院. 5. 吉岡成人他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 6—内分泌・代謝—』, 医学書院. 6. 大東貴志他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 8—腎・泌尿器—』, 医学書院. 7. 岩田健太郎他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 11—アレルギー 膠原病 感染症—』, 医学書院. 8. 小松浩子他(2021):『系統看護学講座 別巻 がん看護学』, 医学書院. 9. 黒江ゆり子編(2017):『経別成人看護学 慢性期看護(第1版)』, メヂカルフレンド社. 10. 宮脇郁子他(2015):『看護実践のための根拠がわかる成人看護技術 慢性看護(第2版)』, メヂカルフレンド社. 11. 神田清子、二渡玉江(2015):『成人看護技術 がん・ターミナルケア』 第2版 メヂカルフレンド社. 他、必要に応じ、資料を配布する		
参考図書	必要に応じ紹介する		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:m_uda@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
セルフケア支援論演習		BNNSS4E37	30902	2後	1(30)	必修
担当教員	◎宇多 雅	実務歴	有	看護師として病院に17年勤務		
担当教員	吉田 えり	実務歴				
概要	セルフケア支援論の講義で学習した知識をもとに、 慢性の病をもって生きる人の療養生活とセルフケアを支援していくための看護援助方法 について技術体験、患者講義を通して学ぶ。さらに、事例検討を通して看護の 課題解決 に必要な 実践的思考過程 を養う。					
到達目標	1. 慢性の病をもって生きる人と家族の特徴をふまえて、看護に必要な観察の視点とアセスメント方法について説明できる。 2. 慢性の病をもって生きる人の療養生活・セルフケアを支援していくために必要とされる基本的な看護技術を実践できる。 3. 慢性の病をもって生きる人と家族の特徴をふまえて、事例に応じた看護過程を展開できる。					
関連科目	セルフケア支援論、セルフケア支援論実習、緩和ケア論、緩和ケア論実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	80%	・到達目標1に対して30% ・到達目標2に対して30% ・到達目標3に対して20%		定期試験後のレビューで説明	
	レポート課題等	30%	・到達目標1に対して5% ・到達目標2に対して5% ・到達目標3に対して10%		コメントの記述または評価表の返却	
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践 ◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされるセルフモニタリング技術①(アセスメントの視点)			予習)慢性の病をもって生きる人の特徴肺がんの病態と基礎知識 復習)テキストの関連部分に戻って不足内容を加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
2	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされるセルフモニタリング技術②(化学放射線療法と有害事象)			予習)化学放射線療法と有害事象 復習)テキストの関連部分に戻って不足内容を加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
3	慢性の病をもって生きる人を支援していくためのセルフモニタリング技術③(有害事象と症状緩和)			予習)代表的な有害事象と症状緩和の方法 復習)テキストの関連部分に戻って不足内容を加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
4	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開①(看護過程の情報整理の枠組み・情報の整理)			予習)事例の読み込みとゴードンの機能的健康パターン 復習)テキストの関連部分に戻って不足内容を加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
5	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開②(情報の解釈/分析)			復習)情報整理の追加・修正		予習0.5時間 復習0.5時間
6	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開③(看護診断の仮説・照合・確定診断)			復習)情報の解釈/分析の追加・修正		予習0.5時間 復習0.5時間
7	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開④(統合アセスメントと関連図、問題リスト)			復習)統合アセスメントと関連図、問題リストの追加・修正		予習0.5時間 復習0.5時間
8	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開⑤(看護計画・SOAP記録)			復習)看護計画・SOAP記録の追加・修正		予習0.5時間 復習0.5時間
9	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護展開⑥(成果発表)			復習)看護過程全体の見直し		予習0.5時間 復習0.5時間
10	慢性の病をもって生きる人の療養生活の実際①(患者講義)			予習)C型肝炎をもって生きる人の特徴・病態 復習)配布資料を再度読み不足内容の加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
11	慢性の病をもって生きる人の療養生活の実際②(患者講義)					予習0.5時間 復習0.5時間
12	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護技術①			予習)ナースングスキルを視聴し、自己血糖測定・インスリン注射について確認をしておく 復習)テキストの関連部分に戻って不足内容を加筆		予習0.5時間 復習0.5時間
13	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護技術②					予習0.5時間 復習0.5時間
14	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護技術③					予習0.5時間 復習0.5時間
15	慢性の病をもって生きる人を支援していくための看護のまとめ			予習)第1講～14講までを振り返り 学習の不足内容等を明確にしておく		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	セルフケア支援論に準ずる。主に、以下のテキストを使用する。 1. 黒江ゆり子編(2017):『経過別成人看護学 慢性期看護(第1版)』,メヂカルフレンド社。 2. 宮脇郁子他(2015):『看護実践のための根拠がわかる成人看護技術 慢性看護(第2版)』,メヂカルフレンド社。 3. 神田清子、二渡玉江(2015):『成人看護技術 がん・ターミナルケア』第2版 メヂカルフレンド社。 4. 吉岡成人他(2021):『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 6—内分泌・代謝—(第15版)』,医学書院。 5. 小松浩子他(2021):『系統看護学講座 別巻 がん看護学』,医学書院。 必要に応じて資料配布					
参考図書	①「NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023」医学書院。 ②ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第6版 ヌーベルヒロカワ。 ③その他、セルフケア支援論に準ずる					

教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:m_uda@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認
----------------	---

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
緩和ケア論		BNNSS4L38	30903	2前	1(30)	必修
担当教員	◎ 吉田 えり		実務歴			
担当教員	宇多 雅		実務歴	有	看護師として病院に17年勤務	
担当教員	門田 典子		実務歴			
概要	人を 全人的く身体的・精神的・社会的・霊的(スピリチュアル) な存在として認識し、 生命を脅かす疾患にの療養過程 に伴い生じる問題に直面している人やその 家族の全人的苦痛 を捉え、必要とされる 緩和ケア について基本的な知識を学ぶ。また、緩和ケアを担う多職種による チーム医療 の意義と 看護師の役割・姿勢 について理解する。さらに事例を通して、看護援助を探求する。(オムニバス方式/全15回)					
到達目標	1) 緩和ケアの概念を知り、その重要性について説明できる。 2) 生命を脅かす疾患をもつ人とその家族の特徴を、療養過程をふまえて全人的(身体的・精神的・社会的・霊的(スピリチュアル))な視点から説明できる。 3) 全人的苦痛を和らげるための看護援助について説明できる。 4) チーム医療の必要性と看護師が果たす役割について説明できる。 5) 事例検討を通して、必要な看護を考究できる。					
関連科目	セルフケア支援論 セルフケア支援論演習 セルフケア論実習 緩和ケア論実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	中間まとめ	20%	1)の到達目標に対して5% 2)の到達目標に対して6% 3)の到達目標に対して6% 4)の到達目標に対して3%	授業時に解説		
	成果物の提出	15%	2)の到達目標に対して6% 5)の到達目標に対して9%	総評を次回授業時に解説 最終講は総評を掲示		
	定期試験	65%	1)の到達目標に対して10% 2)の到達目標に対して20% 3)の到達目標に対して15% 4)の到達目標に対して10% 5)の到達目標に対して10%	定期試験後のレビューで説明		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	ガイダンス ・ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーから見た、本科目の位置づけ ・授業の概要、講義予定などの説明 ・予習と復習について 緩和ケアの考え方① ・がんを患うとは ・がんを取り巻く現状の理解		* 第1回から15回までの予習・復習はルーズリーフを使用して整理し、フラットファイルなどに綴じて活用することを推奨する ・がんの病態(病理学概論の知識を活用すること)と臨床経過 ・がん医療や緩和ケアに関する法律や制度 ・生命を脅かす慢性疾患を持って生きる人の特徴			予習0.5時間 復習0.5時間
2	緩和ケアの考え方②緩和ケアの定義・主要概念の理解		・緩和ケアの概念(定義)・考え方 ・チーム医療と多職種の役割			予習0.5時間 復習0.5時間
3	生命を脅かす疾患を持つ人の包括的理解(トータルペイン)と看護スピリチュアルケア		・トータルペインの視点とその要素 ・スピリチュアルケア ・患者とその家族の特徴やニーズと看護			予習0.5時間 復習0.5時間
4	がん療養のプロセスに応じた看護① 診断から治療、再発、終末期にかけての療養プロセスと患者・家族の特徴 QOL評価		・療養プロセスに伴う患者の身体の変化、患者と家族の特徴 ・サバイバーの理解 ・QOLの評価方法			予習0.5時間 復習0.5時間
5	がん療養のプロセスに応じた看護② 療養プロセスと看護、意思決定支援		・療養プロセスにおける看護の概要。 ・さまざまな意思決定と看護			予習0.5時間 復習0.5時間
6	症状マネジメントの基本的理解① ・苦痛症状を持つ人の全人的理解 ・疼痛、呼吸困難等		・苦痛症状を持つ人の全人的苦痛の理解、日常生活への影響と看護 ・医療用麻薬などを含む症状マネジメントに使われる薬物とその管理について ・講義でとりあげた身体症状のメカニズムとマネジメント(医学的対処とアセスメントを含む看護の考え方)			予習0.5時間 復習0.5時間
7	症状マネジメントの基本的理解② ・倦怠感 食欲不振 浮腫 等		・講義でとりあげた身体症状のメカニズムとマネジメント方法(薬物等の医学的対処)と看護(アセスメント、支援等)の考え方			予習0.5時間 復習0.5時間
8	症状マネジメントの基本的理解③ ・不安、精神症状 等 ・苦痛緩和における倫理的問題		・講義でとりあげた精神症状のメカニズムとマネジメント方法(薬物等の医学的対処)と看護(アセスメント、支援等)の考え方 ・倫理的課題と問題が起こりやすい背景			予習0.5時間 復習0.5時間

9	中間のまとめ(小テスト)	第1回～第8回までの学修内容の確認と復習	予習0.5時間 復習0.5時間
10	がん療養のプロセスに応じた看護③ 終末期にある人の特徴の理解と看護	【予習】がん療養のプロセスに応じた看護①②を復習しておく ・終末期とは ・終末期・看取り期にある患者の4側面の特徴と看護	予習0.5時間 復習0.5時間
11	がん療養のプロセスに応じた看護④ 終末期の特徴と家族のグリーフケア	【予習】がん療養のプロセスに応じた看護①②③を復習しておく ・終末期・看取り期にある患者の家族の4側面の特徴と看護 ・グリーフケア	予習0.5時間 復習0.5時間
12	生命を脅かす疾患をもつ人とその家族の特徴を説明する(事例①) (グループワークと発表)	【予習】事例①について調べて持参する 事例の全人的苦痛について説明できるように整理する (成果物は評価の対象となる)	予習0.5時間 復習0.5時間
13	事例②検討／個人ワーク:療養プロセスにおけるトータルペインについて	生命を脅かす疾患に関連する問題をもつ人とその家族の特徴を、療養過程をふまえて全人的に捉える視点と必要な看護を考える(成果物は評価の対象となる)	予習0.5時間 復習0.5時間
14	事例②検討／グループワーク:療養プロセスにおけるトータルペインと看護について		予習0.5時間 復習0.5時間
15	事例②検討／成果発表(グループ発表)		予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	1)梅田恵、的場典子編(2018)『看護学テストNICE 緩和ケア第2版』第2版 南江堂 2)小松 浩子他(2017)系統看護学講座 別巻『がん看護学』第2版 医学書院 3)神田清子、二渡玉江(2015)『成人看護技術 がん・ターミナルケア』第2版 メヂカルフレンド社 他必要に応じ、資料を提示する。		
参考図書	清水健(2017)『112日間のママ』小学館 青鹿ユウ(2017)『今日から第二の患者さん』小学館 藤河るり(2016) 『元気になるシカ!』KADOKAWA		
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:〇〇@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
精神看護学		BNNSS3L39	31001	2前	2(60)	必修
担当教員	◎三林聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
担当教員	高橋康子	実務歴	有	看護師として病院／診療所／保健センターで4年勤務		
概要	こころの働きと、こころに影響を及ぼす要因について理解する。また、こころに病を持っている方への看護の意義と目的、方法を学ぶ。さらに、こころに病を持つ人々を取り巻く社会情勢についての理解を深める。					
到達目標	1. こころの健康について自分自身の考えを述べるができる。 2. こころの健康に影響を及ぼす要因を述べるができる。 3. こころに病を持つ人々への看護を述べるができる。 4. こころに病を持つ人々を取り巻く社会情勢について述べるができる。					
関連科目	精神看護学演習 精神看護学実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	100%	到達目標1-20% 到達目標2-20% 到達目標3-40% 到達目標4-20%	定期試験のレビューで説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容	取組時間	
1	オリエンテーション 精神看護学で学ぶ内容			【予習】教科書の目次を読む ①目次:P3-12 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
2	精神看護とは何か、その位置づけと役割			【予習】①P2-9を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
3	日本の精神医療の現状と課題			【予習】①P9-22を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
4	精神の健康・不健康とは何か			【予習】①P24-30を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
5	危機理論・ストレス理論・トラウマ・リカバリ・レジリエンス			【予習】①P31-48を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
6	精神障がいというらえ方 精神保健における予防概念			【予習】①P49-53を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
7	こころの働き(意識と認知機能・感情・学習と行動)			【予習】①P56-67を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
8	こころの働き(知能・心の理論・心理検査)			【予習】①P67-79を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
9	こころの働きを理解するための諸理論 フロイト			【予習】各発達理論について整理する ①P79-91 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
10	こころの働きを理解するための諸理論 クライン・ウィニコット			【予習】フロイトについて整理する ①P91-96 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
11	こころの働きを理解するための諸理論 エリクソン・ボウルビー・コフート			【予習】各発達理論について整理する ①P97-113 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
12	家族とこころの健康問題			【予習】原因と対処法について整理する ①P116-130 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
13	集団とこころの健康問題			【予習】原因と対処法について整理する ①P131-142 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
14	思考の障害・感情の障害・意欲の障害			【予習】各障害を整理する ①P150-155 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
15	知覚の障害・意識の障害・記憶の障害			【予習】各障害を整理する ①P156-162 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
16	前半のまとめ			【予習】前半部分をもう一度整理し、理解を確実にする 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
17	統合失調症の症状・治療			【予習】統合失調症の症状と治療を整理する ①P165-181 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
18	統合失調症の看護			【予習】統合失調症の看護を整理する ①P165-181 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
19	気分[感情]障害の症状・治療			【予習】気分障害の症状と治療を整理する ①P182-191 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
20	気分[感情]障害の看護			【予習】気分障害の看護を整理する ①P182-191 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	
21	神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害の理解と看護			【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P191-P201 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間	

22	アルコール症・知的能力障害・ゲーム障害の理解と看護	【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P201-207 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
23	知的能力障害・てんかんの理解と看護	【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P208-211 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
24	発達障害・摂食障害・パーソナリティ障害の理解と看護	【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P211-217 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
25	認知症の理解と看護	【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P223-229 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
26	睡眠障害・性別違和・心身症の理解と看護	【予習】各疾患に対する看護を整理する ①P229-234 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
27	精神科リハビリテーションと退院支援	【予習】精神科リハビリテーションと退院支援を整理する 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
28	包括的地域生活支援	【予習】包括的地域生活支援の内容を整理する 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
29	精神障害と治療の歴史	【予習】①P298-370を講義前後に読む 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
30	全講義のまとめと重要ポイントの確認	【予習】全体を通しての重要ポイントをしっかりと押さえる 【復習】講義中に指示する	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	①:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の基礎 ②:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の展開		
参考図書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令		
教員に対する 質問方法	三林聖司 メールアドレス:s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 高橋康子 メールアドレス:y_takahashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
精神看護学演習		BNNSS4E40	31002	2後	2(60)	必修
担当教員	◎高橋康子	実務歴	有	看護師として病院、診療所、保健センターに4年勤務		
担当教員	三林聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
概要	精神看護における 専門性・特殊性 を学び、看護の役割について学修する。看護の対象となる人たちの 身体的・心理的・社会的側面 を理解するためには、その人を取り巻く様々な 環境要因 が考えられるため、グループワークを中心に行い、個々の学修を深める。					
到達目標	1.精神領域の専門性・特殊性を述べることができる。 2.精神に障がいを持つ人たちの回復を支える様々な治療的アプローチについて学び、看護の役割を述べるができる。 3.向精神病薬の有害反応を理解し、その予防・対処方法と看護について述べるができる。 4.精神に障がいを持つ人たちの地域で生活するための社会制度について理解し関連する法律について述べるができる。					
関連科目	精神看護学					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	70%	到達目標1-10% 到達目標2-30% 到達目標3-20% 到達目標4-10%	定期試験後のレビューで説明		
	授業参画	30%	到達目標1-3% 到達目標2-10% 到達目標3-10% 到達目標4-7%			
DPとの対応	智をいっくむ力		人をいっくむ力		命をいっくむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1・2	1. ガイダンス 2 精神看護の特殊性と専門性			予習:事前に提示する。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかテキストを読んでまとめる。		予習1時間 復習1時間
3・4	日常生活のアセスメント			予習:事前に提示する。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかテキストを読んでまとめる。		予習1時間 復習1時間
5・6	心理・社会的アセスメント(患者の病状・治療を理解する視点)			予習:事前に提示する。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかテキストを読んでまとめる。		予習1時間 復習1時間
7・8	精神領域におけるコミュニケーション(ケアの人間関係)			予習:精神看護の展開第8章を読む。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかノートにまとめる。		予習1時間 復習1時間
9・10	精神科におけるリハビリテーション(回復を助ける)			予習:精神看護の展開第9章を読む。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかノートにまとめる。		予習1時間 復習1時間
11・12	地域におけるケアと支援			予習:精神看護の展開第10章を読む。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかノートにまとめる。		予習1時間 復習1時間
13・14	精神科における身体のケア			予習:精神看護の展開第12章を読む。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかノートにまとめる。		予習1時間 復習1時間
15・16	安全を守る			予習:精神看護の展開第13章を読む。 復習:本日の到達目標に沿って理解できたかノートにまとめる。		予習1時間 復習1時間
17・18	精神科におけるレクリエーションの意味			予習:事前に提示する。 復習:本日の到達目標に沿ってノートを作成する。		予習1時間 復習1時間
19・20	レクリエーションの企画			復習:各グループの企画を聞き精神科におけるレクリエーションの意味についてまとめる。		予習1時間 復習1時間
21・22	事例展開(統合失調症) ライフストーリーの作成			復習:第1回～第8回の演習内容を復習しておく。 精神看護の基礎p165～p182、p236～p275をよく読み 前期にまとめたノートを見直し不足分は追記しておく		予習1時間 復習1時間
23・24	事例展開(統合失調症) 看護問題と今後の見通し					予習1時間 復習1時間
25・26	事例展開(気分障害) ライフストーリーの作成			復習:第1回～第8回の演習内容を復習しておく。 精神看護の基礎p182～p191、p182～p283をよく読み 前期にまとめたノートを見直し不足分は追記しておく。		予習1時間 復習1時間
27・28	事例展開(気分障害) 看護問題と今後の見通し					予習1時間 復習1時間
29・30	29. 後期のまとめ 30. 前期・後期を通して来年度の実習に向けて			復習:後期の学修内容を振り返り、 次年度の実習に向けて知識の定着を確認する。		予習1時間 復習1時間
使用テキスト	1. 武井麻子他:《系統看護学講座 専門分野Ⅱ》精神看護学① 精神看護の基礎, 第6版, 医学書院 2. 武井麻子他:《系統看護学講座 専門分野Ⅱ》精神看護学② 精神看護の展開, 第6版, 医学書院					
参考図書	ロイノートスクール					
教員に対する質問方法	メールアドレス:y_takahashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 研究室3					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生活行動看護論実習Ⅱ		BNNSS3P42	39902	2前	2(45)	必修
担当教員	◎久留島 実姫		実務歴	有	看護師として病院に5年勤務	
概要	<p>病院で療養生活を送る人々を全人的に捉え、看護過程という科学的な知識と思考を用いて、看護の独自の機能である生活行動援助とその意義について学ぶ。</p> <p>この実習では、実際に患者を受け持ち、情報収集からアセスメントし、看護問題の抽出、看護診断との照合を経て、必要な看護援助計画を立案、実施し、その援助を評価するという一連のプロセスを教員、臨床講師の指導を得ながら経験する。また、患者とのコミュニケーションを通して人間関係の構築、人権擁護について学ぶと共に、病院における保健・医療・福祉などヘルスケアの提供組織とその仕組みを理解し、チーム内での看護の役割について理解する。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 尊厳と人権擁護を基盤にして看護の対象となる人々と治療の人間関係を形成できる。 2. 受け持ち患者の看護過程が展開できる。 3. 病院における保健・医療・福祉などヘルスケアの提供組織とその仕組みを理解し、チーム内での看護の役割について述べることができる。 4. 看護実践の体験を通して、看護の専門性について記述できる。 					
関連科目	生活行動援助論Ⅰ・Ⅱ、生活行動援助論演習Ⅰ・Ⅱ、ヘルス・フィジカルアセスメント、看護過程論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	実習記録と実習に取り組む姿勢	100	実習目標1:5% 実習目標2:45% 実習目標3:5% 実習目標4:10%		実習中の面談	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
	実習要綱参照					
教員に対する質問方法	常勤： Teamsチャット メールアドレス： m_kurushima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					